



令和8年3月31日

印西市長 藤代健吾様

(住所) [REDACTED]  
(団体名) 一般社団法人SODO  
(代表者名) 代表理事 鈴木 広美



### 業務完了報告書

このことについて、下記のとおり「里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業業務委託」を完了しましたので報告します。

#### 記

1. 業務委託名 里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業業務委託
2. 契約年月日 令和7年 4月 1日
3. 開始年月日 令和7年 4月 1日
4. 完了年月日 令和8年 3月31日
5. 備考

## 市内グリーンインフラワークショップの開催結果の共有

### (1) 開催概要

- ・市内 26 課 32 名、国立環境研究所、協議会事務局の計 37 名が参加
- ・基調講演、話題提供の後、3 グループに分かれて、グループディスカッションが行われた。

| 参加団体・組織 |                                                                                                                                                         | 参加人数 |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 印西市     | 総務課、秘書広報課、防災課、企画政策課、交通政策課、資産経営課、市民活動推進課、課税課、納税課、国保年金課、経済振興課、クリーン推進課、農政課、高齢者福祉課、社会福祉課、障がい福祉課、保育幼稚園課、スポーツ振興課、都市計画課、都市整備課、指導課、道路建設課、下水道課、生涯学習課、文化振興課、環境保全課 | 33 名 |
| 研究機関    | 国立環境研究所                                                                                                                                                 | 2 名  |
| 事務局     | SODO                                                                                                                                                    | 2 名  |

| 時間          | プログラム        | 内容                                                                                                                          |
|-------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 14:00～14:05 | 開会           | 環境保全課富澤課長ご挨拶                                                                                                                |
| 14:05～14:40 | 基調講演         | 「印西市におけるグリーンインフラ推進について」<br>国立環境研究所気候変動適応センター副センター長 西廣淳氏                                                                     |
| 14:40～15:05 | 話題提供         | ・いんざい里山グリーンインフラ推進協議会の紹介<br>・印西市の行政施策とグリーンインフラとのかかわりについて<br>いんざい里山グリーンインフラ推進協議会事務局 佐竹 康孝氏                                    |
| 15:15～16:30 | グループディスカッション | 3 グループに分かれて、グループディスカッション<br>⇒テーマ 1：印西市のみどり、グリーンインフラとまちづくりの視点からの将来像（将来どのような印西市としていきたいか）<br>⇒テーマ 2：「グリーンインフラ×●●」連携による取組推進の可能性 |



(基調講演)



(基調講演)



(グループディスカッション)

## ■基調講演資料

印西市役所庁内勉強会 2026.3.17

印西市におけるグリーンインフラの推進について

印西市グリーンインフラアドバイザー  
国立環境研究所 西廣 淳  
nishihiro.jun@nies.go.jp

本日の話題

1. グリーンインフラの意義
2. グリーンインフラの進め方
3. グリーンインフラの視点から見た印西市の特徴

### グリーンインフラとは

- ・インフラ＝社会基盤
- ・社会基盤には、人エインフラとグリーンインフラがある。
- ・もともと、グリーンインフラこそがインフラだった。
- ・近代化とともにグリーンインフラが意識されなくなり、人エインフラこそがインフラだと思われるようになった。
- ・しかし近年、安全、快適、健康的、魅力的な地域づくりのカギとして、グリーンインフラが世界的に注目されている。

注：「グリーンインフラ」という言葉は、国によって少しずつ異なる意味で用いられる。世界的にはNbS (Nature-based Solutions: 自然を活かした解決策) という言葉が、日本での「グリーンインフラ」に該当。

グリーンインフラには、  
・施設のグリーンインフラ  
・計画のグリーンインフラ がある。

施設のグリーンインフラの例：緑溝、バイオスウェル



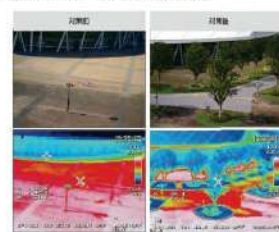
グリーンインフラには、  
・施設のグリーンインフラ  
・計画のグリーンインフラ がある。

施設のグリーンインフラの例：雨庭、レインガーデン



参照：一財 地産都市トラストまちづくり「自分でもできる雨庭の手引き vol.1」  
参考：世帯自治体雨水浸透施設設置促進会「雨水保全重点地区」では一般地域より高断を形成

施設のグリーンインフラの例：都市緑地

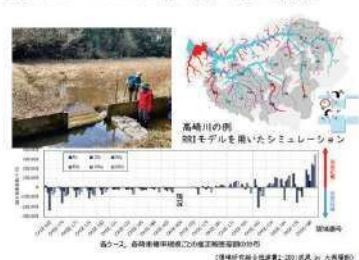


那谷スゴウ文化公園の例  
(参照：環境省「生態系を活用した気候変動適応策 (EaA) 計画と実施の手引き」)

施設のグリーンインフラの例：谷津の湿地化



計画のグリーンインフラの例：谷津の保全の空間計画



計画のグリーンインフラの例：滋賀県の流域治水事例



### グリーンインフラとは

- ・植物や土壌など自然の要素を活かした施設。
- ・地形や水循環など自然のプロセスを活かした計画。

- ⇒その結果として得られるもの。
- ・安全性、快適性の向上
  - ・住民のウェルビーイングの向上
  - ・地域の魅力の向上
  - ・公共事業の効率化

事例：ヨーロッパの新しいまちづくり

暑熱対策 + 緑地・農地保全 = まちの魅力向上  
防災 + 農地保全 + 生物保全 = まちの魅力向上



ドイツ  
ミュンスター市  
涼風の通り道の確保。  
ゾーンに応じた緑地、公園、  
農地の配置・保全。

オランダ  
ユトレヒト近郊  
排水路のビオトープ化、  
湿地を活かした住宅地。

コスト低減もグリーンインフラの意義



ニューヨーク  
グリーンインフラ計画

都市型水害、合流式下水道からの  
汚水流出 (CSO) を防ぐための戦略

グリーンインフラ計画 53 億ドル

従来型計画 68億ドル

⇒グリーンインフラ計画の推進

### グリーンインフラとは

- ・植物や土壌など自然の要素を活かした施設。
- ・地形や水循環など自然のプロセスを活かした計画。

- ⇒その結果として得られるもの。
- ・安全性、快適性の向上
  - ・住民のウェルビーイングの向上
  - ・地域の魅力の向上
  - ・公共事業の効率化
  - ・資金、表彰



### グリーンインフラとは

- ・植物や土壌など自然の要素を活かした施設。
- ・地形や水循環など自然のプロセスを活かした計画。

- ⇒その結果として得られるもの。
- ・安全性、快適性の向上
  - ・住民のウェルビーイングの向上
  - ・地域の魅力の向上
  - ・公共事業の効率化
  - ・資金、表彰

グリーンインフラは人エインフラを否定するものではない。  
人エインフラの弱点を補い、地域の価値を総合的に高めるもの。

本日の話題

1. グリーンインフラの意義
2. グリーンインフラの進め方
3. グリーンインフラの視点から見た印西市の特徴

## カナダ City of Surrey (サレー市) の地域計画

ブリティッシュコロンビア州第2の都市。人口約50万人、317km<sup>2</sup>。もともと農業地域だったが移住の影響などで人口増加中。持続可能性憲章 (Sustainability Charter)：将来50年間の構想。2008年に策定しその後更新。「経済」「環境」「社会・文化」合計7つの指標を設けて達成度評価。ウェブGIS (COSMOS) で様々な情報を共有。まちづくりに活用。



## カナダ City of Surreyのまちづくり

広域グリーンインフラ計画を踏まえた土地利用の工夫



## グリーンインフラの進め方

ポイント1. 部局横断

- ①ある部局での問題が、別の部局の解決に。  
・・・たとえば耕作放棄地の解消⇔活用
- ②自然の多機能性を活かし、複数の課題に対応。  
・・・獣害対策+環境教育+脱炭素



## グリーンインフラの進め方

ポイント2. 客観的エビデンスの活用

データを活用することで

「根拠の明確化」「説明責任」

「順応的管理」「順応的学習」



グリーンインフラマップ、緑の環境運動マップ、と公園の位置

## グリーンインフラの進め方

ポイント3. 行政ならではの「調整力」

たとえば、

- 農地の利用者と地権者の調整  
・・・納得感のある関係構築、金銭的調整
- 誘致する企業の選択、企業の地域活動の支援  
・・・真に地域に役立つ貢献をする企業の誘致  
企業活動と地域活性化の好循環の創出

## 本日の話題

1. グリーンインフラの意義
2. グリーンインフラの進め方
3. グリーンインフラの視点から見た伊西市の特徴

## グリーンインフラの視点から見た伊西市の特徴

1. 人口が多いのに自然が豊かな。  
⇒ グリーンインフラの受益者が多い
2. 産業が活発なのに自然が豊かな。  
⇒ グリーンインフラのサポーターが得やすい。
3. 研究と運動しやすい  
・ 国立環境研究所との連携協定  
⇒ 内閣府SIPの研究との連携  
⇒ グリーンインフラマップ、手引きの活用  
⇒ ウェルビーイング評価との運動  
⇒ LMCの設立準備

## NbSメニュー (カタログ) と手引きの整備

| 自然活用メニューの例                | 期待される効果                  | 効果の発揮                          |
|---------------------------|--------------------------|--------------------------------|
| 谷津の地形の維持                  | 景観保全                     |                                |
| オプション①<br>北手の植栽、人工水路への設置  | +治水<br>+水質浄化<br>+生物多様性保全 | 浸水域・浸水深<br>被害軽減<br>水質改善<br>動植物 |
| オプション②<br>耕作放棄地周辺の緑地化     | +防災、産業振興<br>+生物多様性、水資源保全 | 管理面積<br>浸水域範囲                  |
| オプション③<br>斜面緑地の復元、パイオニア作成 |                          |                                |



谷津活用の手引き  
- 具体的管理手法  
- トレードオフの扱い  
(明確化+合意形成、  
シナジー促進手法)  
- 地域者・地域との関係、  
活動度の注視点



農業竹蓐管理とパイオニア  
づくりの手引き  
- 意義  
- 具体的方法  
- 注視点 (作業、法制度)

手引きの公開  
<https://pi-shuwan.com/shirui/>



## ウェブGISによる情報共有



## 半官半民のグリーンインフラ推進団体「LMC」の設立準備

地域のランドスケープを経営するーLMC (ランドスケープマネジメントセンター)  
構想より <https://note.com/groainit/nb95a9e3b6d56>



## たくさんある「グリーンインフラ化」の選択肢

- 自然を活かした老人福祉、子育て支援、世代間交流
- 自然を活かした歩行・自転車移動の促進
- 自然を活かしたゴミの減量、有機物利活用
- 自然を活かした企業誘致
- 自然を活かした農業振興
- 自然を活かした防災減災
- 自然を活かした文化、芸術

etc.

グリーンインフラにより総合力を高めることで、  
住みたくなる、訪れたいくなるまちへ。

## ■話題提供資料



## グリーンインフラについて



## グリーンインフラについて



## 令和7年8月のアンケート結果概要

### グリーンインフラに関する取組み アイデアの募集について

- 市内でグリーンインフラだと思ふ取組み
  - 都市緑化：街路樹・公園・緑地の整備・維持管理、緑化推進
  - 気候変動対策：グリーンカーテン
  - 雨水管理：透水性舗装、雨水浸透槽、ため池や田んぼの保水機能活用
  - 里山保全・活用：草深い森、武西の里山・大森・別所の森等の保全・整備・活用
  - 環境教育・自然体験：自然観察会、川めぐり、自然探訪、生きもの・ホテル保全、生き物調査、学校のビオトープ
  - 農地活用：市民農園、耕作放棄地解消、直売所
  - 市民協働：市民共同事業、アダプト制度、NPO活動支援、美化活動推進
  - 地域環境の保全：農地・農林・水辺・流域の環境保全
  - 開発指導：景観誘導、脱炭素、緑地確保、雨水対策等

## 令和7年8月のアンケート結果概要

### グリーンインフラに関する取組み アイデアの募集について

- 市外の印象に残っている事例
  - 都市緑化：屋上・壁面緑化(官民)、道路(街路樹)・軌道の緑化
  - 公園整備：複合機能を持った公園(自然、農、食、アート、防災、運動等)
  - 気候変動対策：ミストや保水素材による暑熱対策
  - 雨水管理：レインガーデン、バイオスウェル、田んぼダム
  - 里山保全・活用：里山整備調査、竹林整備、間伐材利用
  - 水辺空間活用・再生：遊歩道・カエ、湧水地周辺整備など水辺づくり
  - 地域活性化・観光：湧水地・花の名所・田んぼアート・ぶらり遊び
  - 持続可能な農業：屋上農園、コウノトリ育の農法、体験農園、マルシェ+学び

## 令和7年8月のアンケート結果概要

### グリーンインフラに関する取組み アイデアの募集について

- 市として実施すると面白い・効果的な取組みアイデア
  - 都市緑化・気候変動
    - 公園の整備・活用(里山・森林を活用したアスレチック公園、水遊び場やキャンプ場を併設した家族向け大規模公園、水辺空間を活用した公園)
    - 屋上緑化・壁面緑化(公共施設、民間施設、市民開放型屋上農園)
    - 緑の通学路の整備(安全・快適な通学路の面的整備)
    - 街路樹の適正管理とベンチ・日陰の整備
    - 駅周辺整備における対策(緑化、緑と自然エネルギーの拠点、水辺)
    - 水輪・ミスト・水遊び場などの夏の憩いスポット増設
    - グリーンカーテンの公共施設への拡大
    - 緑化助成制度(個人でもの生産や庭木の設置・管理・撤去への補助制度)
    - 開発における緑化率引き上げ(建設事業所の認定制度(特命付き))

## 令和7年8月のアンケート結果概要

### グリーンインフラに関する取組み アイデアの募集について

- 市として実施すると面白い・効果的な取組みアイデア
  - 雨水管理
    - 雨水浸透・貯留施設の導入推進(透水性舗装・雨水浸透槽・貯留施設の公共施設、民間施設・個人宅への導入推進)
    - 雨水対策の制度化・支援制度(住宅・集合住宅・駐車場の浸透・保水舗装への補助制度化)
    - 田んぼダム・湿地化による治水対策(学び拠点化)
    - 耕作放棄地のための地利用(水田の貯水機能維持のための支援)
    - 公共施設等での雨水利用
    - 竹葉調整池のビオトープ化
    - 水遊び場のある公園整備
    - 湿地型遊水地の整備

## 令和7年8月のアンケート結果概要

### グリーンインフラに関する取組み アイデアの募集について

- 市として実施すると面白い・効果的な取組みアイデア
  - 里山・森林・農地の保全・活用
    - 森林保護・管理の促進(環境美化、森林保全、災害予防、散策減少、森林環境課と協力の有効活用)
    - 自然林・林業地復活への補助金(市独自のグリーンインフラ補助金制度)
    - 休耕地の多様な活用(花畑化、市民農園化、レンタルファーム、ニジマスなどの釣場の設置など)
    - 市有林・私有林を活用した施設建設(アドベンチャー施設等)
    - 竹林の整備と観光・学習への活用(竹林の整備・竹炭製作・竹編工・タケノコ採り・ふし、そのほかなど学びと観光の場所創出)
    - 農業体験プログラムの提供(耕作体験(田植え、採り、食育)、農家レストラン・直売所と連携した農業体験)
    - 間伐材等の有効活用：間伐材、薪、チップの有効活用

## 令和7年8月のアンケート結果概要

### グリーンインフラに関する取組み アイデアの募集について

- 市として実施すると面白い・効果的な取組みアイデア
  - 自然・生きもの関係イベント等
    - 昆虫関連イベント(夜間の昆虫光集めイベント、ナイトバグウォッチングツアー、昆虫写真コンテストなどの実施)
    - 外来生物対策イベント(特定外来生物の観察・標識イベントの実施、ナガエツルノゲイトフ食品開発コンテスト、吉野料理コンテストなど)
    - 自然探訪・学習プログラムの充実(森林インストラクターによる四季の里山自然観察会、水質浄化セミナーの実施)
    - 市民参加型ワークショップの開催(南庭プランター作成(親子向け)、里山再生・緑のまちづくりアイデアコンテストなど)
    - 多世代交流の促進(高齢者と環境保全団体が連携した出前講座や自然散歩などを通じた交流機会の創出)

## 令和7年8月のアンケート結果概要

### グリーンインフラに関する取組み アイデアの募集について

- 市として実施すると面白い・効果的な取組みアイデア
  - 地域活性化・観光関係イベント等
    - 廃校施設の活用(南校と周辺森林を融合させた自然学習の場、収穫体験・レストランなどを備えた地域アピール拠点、芸術と自然を融合させた空間・アーティストのアトリエ等としての活用)
    - 資源循環モデルの構築(駅前花壇等での使用済土や乗換の再利用など)
    - 地元農産物を使ったカフェや地域コミュニティスペースの設置
    - 広域自転車道・トレイルコースの整備(里山や国道464号側道活用、マップ作成、レンタサイクルとの一体整備)
    - 大規模観光スポット整備(広大な花畑、印旛沼周辺の「涼の駅」等)
    - 印旛沼の観光地化(遊覧船の導入や水辺整備など)
    - 水辺回遊の拠点づくり・水辺回遊の拠点づくりとポイントイベント

## 令和7年8月のアンケート結果概要

### グリーンインフラに関する取組み アイデアの募集について

- 市として実施すると面白い・効果的な取組みアイデア
  - 文化・教育関係の取組・イベント等
    - 地域ごとの特色ある街づくり(歴の伝説や風土の伝説を生かした地域づくり、古墳群を模した街灯の設置、伝統的建造物の保全など地域の特色を基とした街並みデザイン)
    - 教育施設と学校での取り組み(小学校や中学校で畑を用意し、農作物を育て給食で提供する仕組みの導入、校庭・屋上・プランター菜園の給食活用と学びの価値化、落ち葉地づくりや学校ビオトープの活用推進)
  - その他環境保全
    - 印旛沼・手賀沼・河川の水質改善と環境保全への取り組みの強化
    - 花粉対策への働きかけ

## 令和7年8月のアンケート結果概要

### グリーンインフラに関する取組み アイデアの募集について

- 市として実施すると面白い・効果的な取組みアイデア
  - 多様な主体との連携
    - グリーンインフラに関する情報発信の場やアンテナショップの設置
    - 企業連携の推進(データセンターや企業との協働による緑化一体デザインのビル建設などの啓蒙活動の促進、データセンター排熱の有効活用、建築物における木材利用)
    - 市民・事業者・行政の協働体制強化(グリーンインフラ推進における市民、民間事業者、行政の連携強化)
    - 民間主導グリーンインフラボランティア制度の創設(市民が持続的に関われるソフト面の事業重視、ボランティア制度や補助金などの支援を通じた市民活動促進)

## 令和7年8月のアンケート結果概要

### グリーンインフラに関する取組み アイデアの募集について

- 市として実施すると面白い・効果的な取組みアイデア
  - 政策・制度
    - 開発規制の見直し(太陽光パネル設置に伴う森林伐採の規制、無秩序な開発を防ぐ制度設計)
    - 都市デザインの方向性確立(街全体のデザインや景観に関する統一感のある方向性の設定)
    - 長期的な視点での政策立案(短期的な成果だけでなく未来への投資としての時間をかけた整備計画の策定)
    - 雨水対策の制度化・支援制度 ※再掲
    - 水田の貯水機能維持のための支援 ※再掲
    - 森林環境課と協力の有効活用 ※再掲
    - 自然林・休耕地復活への補助金 ※再掲

## 令和7年8月のアンケート結果概要

### グリーンインフラに関する取組み アイデアの募集について

- その他自由意見
  - 開発と自然の共存への懸念：データセンター、物流施設、太陽光パネル等の建設による森林減少や景観悪化、地域の過疎化とヤードの増加
  - 既存緑地の維持管理の問題：街路樹・植栽帯の管理、過密判定、倒木、鳥獣害水質悪化：戸神川・六軒川・井伏川、印旛沼などの水質悪化
  - 暑熱対策：データセンター増加や過疎化への懸念、クールスポット導入取組の持続性：導入後の維持管理や継続性の考慮(スモールスタート)
  - 他部門・市民・民間との連携強化：市内各課、市民活動団体、地元自治会、管理組合、企業等との連携強化の必要性
  - 広報・教育の強化：グリーンインフラの認知度向上や、こみ量化など環境意識啓発のための教育・情報発信を強化すべき
  - 明確なビジョンとリーダーシップ、子育てしやすい街づくり、地域資源(歴史・文化)の活用による地域づくり

## 令和7年8月のアンケート結果概要

### グリーンインフラに関する取組み アイデアの募集について

- 行政施策とグリーンインフラとのかかわり
  - ②グリーンインフラ × ●● の例

## 令和7年8月のアンケート結果概要

### グリーンインフラに関する取組み アイデアの募集について





## (2) グループディスカッションでの意見交換の概要（速報ベース）

### ■テーマ1：印西市のみどり、グリーンインフラとまちづくりの視点からの将来像（将来どのような印西市としていきたいか）

- ・都市と自然の共存するまち、都市のみどり、都市と農といったキーワードが多く出ていた。

### ■テーマ2：「グリーンインフラ×●●」連携による取組推進の可能性

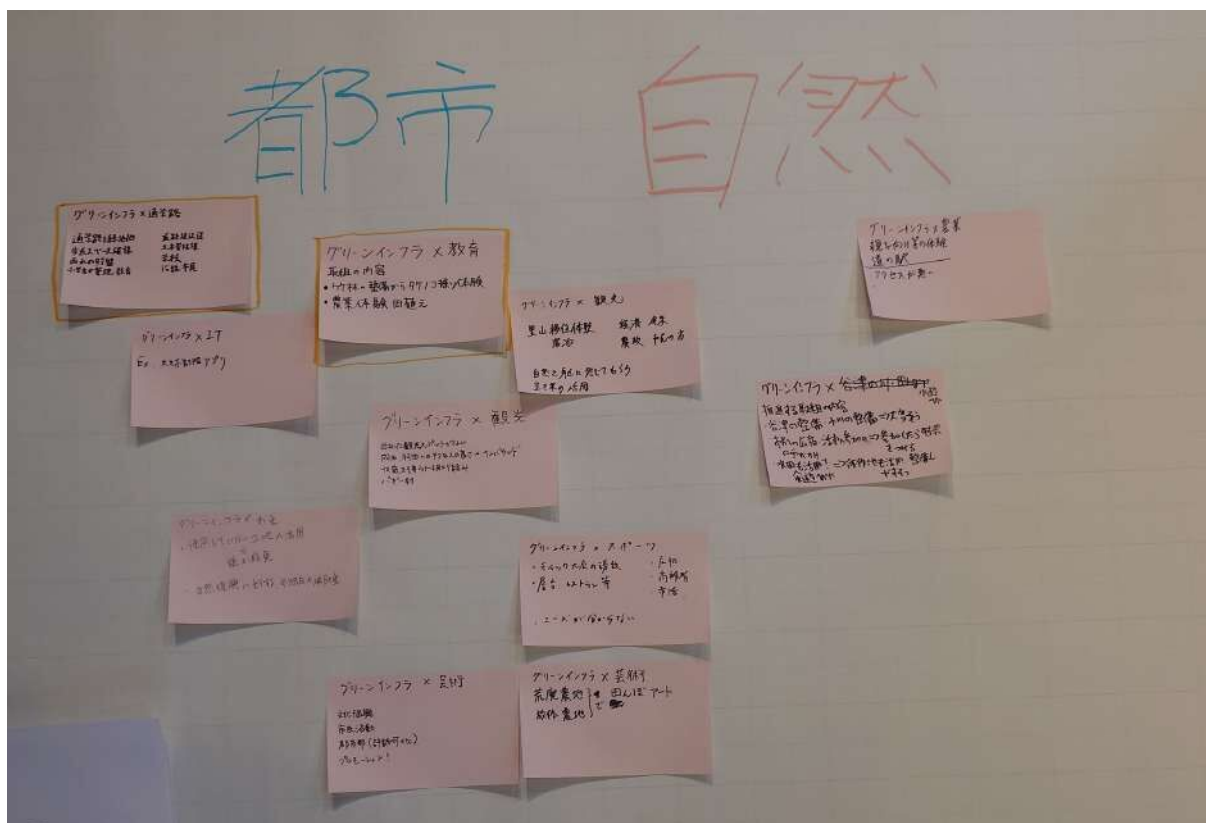
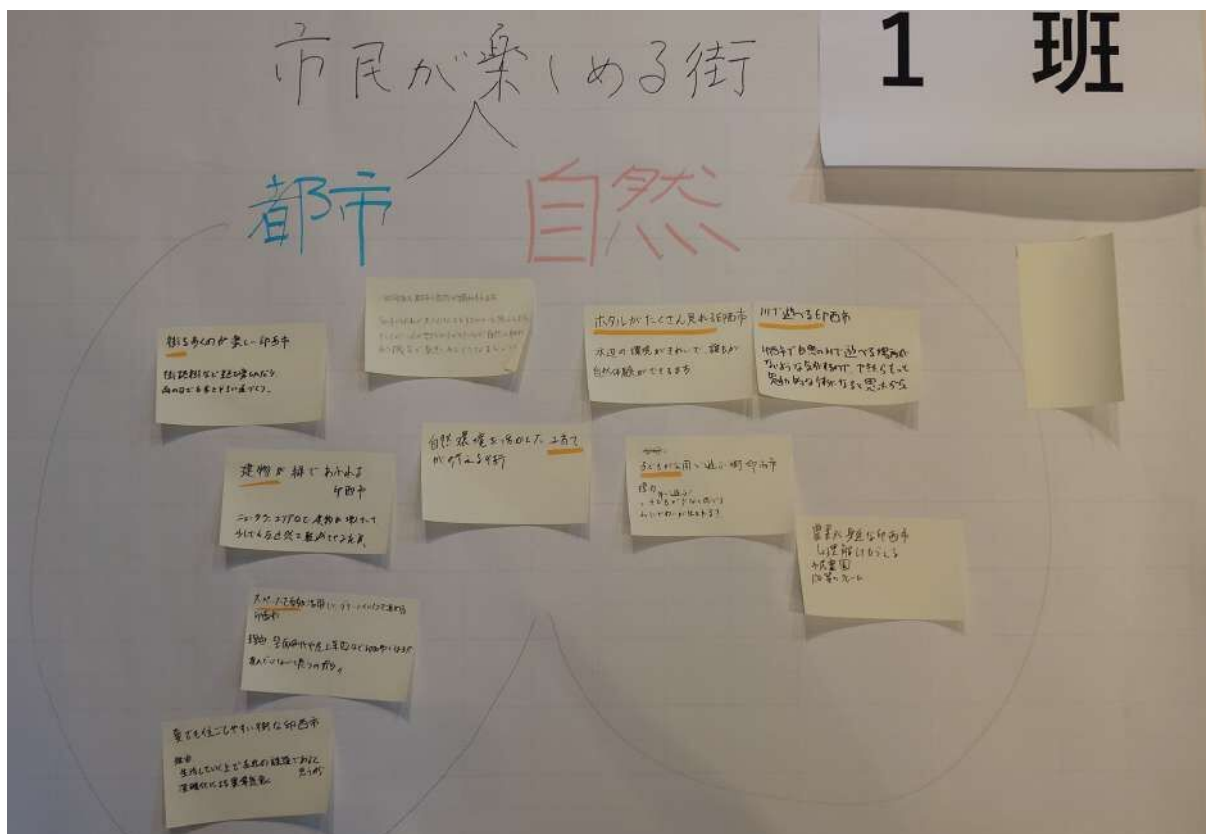
- ・以下のような組み合わせで様々なアイデアが出ていた。

⇒グリーンインフラ×教育  
⇒グリーンインフラ×通学路  
⇒グリーンインフラ×観光  
⇒グリーンインフラ×農業  
⇒グリーンインフラ×緑化  
⇒グリーンインフラ×雨水管理  
⇒グリーンインフラ×まちづくり  
⇒グリーンインフラ×IT  
⇒グリーンインフラ×活用（土地・施設）

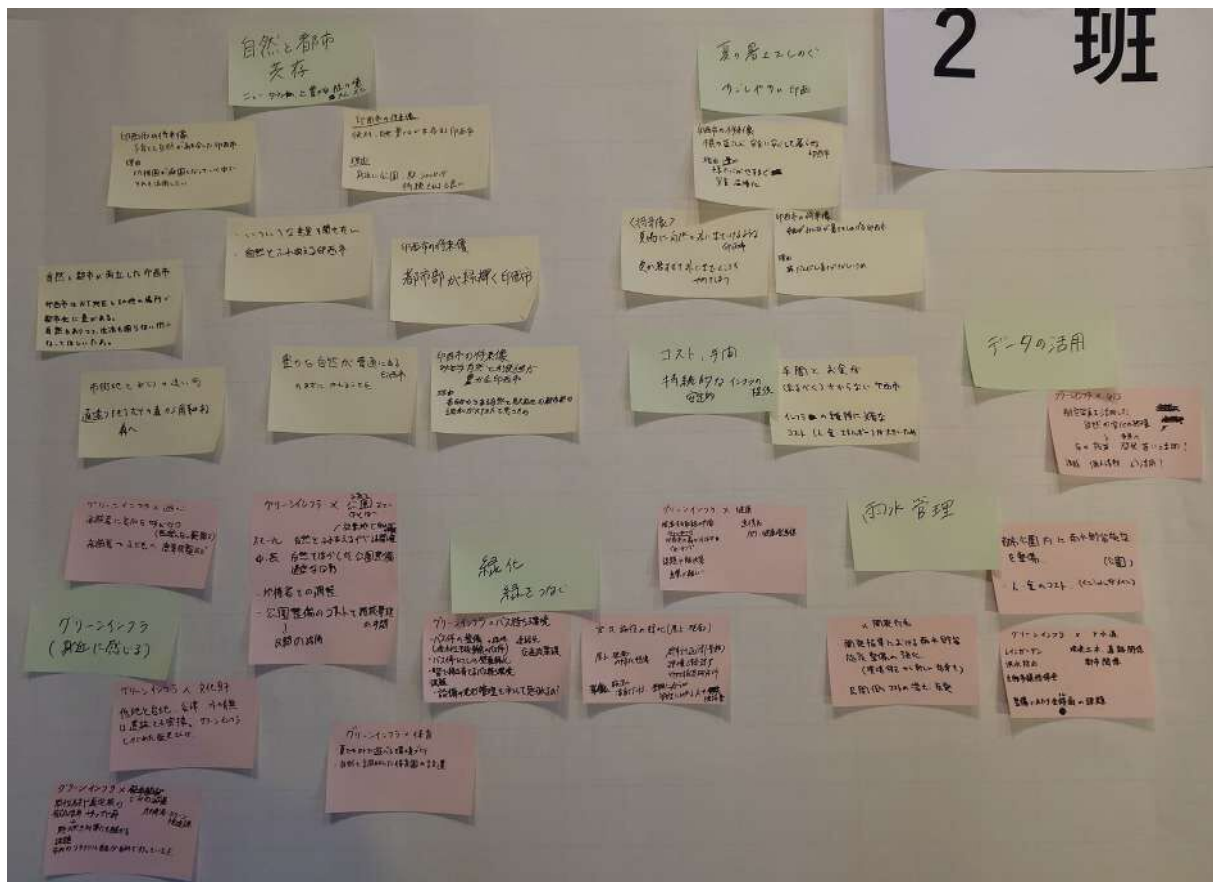
## (3) 今後の展開

- ・今回のグループディスカッションの結果、庁内アンケート結果（R7.8）の整理  
⇒次の施策展開の検討  
⇒協議会との連携等の検討  
⇒スモールスタートへ
- ・参加者に事後アンケートの実施（感想、次に向けた要望等）

【1 班】



【2 班】



【3班】

## 都市と自然

**自然と都市**

自然と都市は、互いに影響を及ぼし合っている。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。

**都市と自然の共生**

都市と自然は、互いに影響を及ぼし合っている。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。

**都市と自然の共生**

都市と自然は、互いに影響を及ぼし合っている。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。

**都市と自然**

都市と自然は、互いに影響を及ぼし合っている。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。

**都市と自然**

都市と自然は、互いに影響を及ぼし合っている。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。

## 都市と自然

**都市と自然**

都市と自然は、互いに影響を及ぼし合っている。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。

**都市と自然**

都市と自然は、互いに影響を及ぼし合っている。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。

**都市と自然**

都市と自然は、互いに影響を及ぼし合っている。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。

**都市と自然**

都市と自然は、互いに影響を及ぼし合っている。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。都市は自然を破壊する一方で、自然は都市を潤す。

## 交流会の振り返り／今後に向けたアクション

## (1) 開催概要

- ・市民団体 9 団体 20 名、研究者、印西市の計 33 名が参加
- ・基調講演、協議会参加団体からの情報提供の後、3 グループに分かれて、活発なグループディスカッションが行われた。

| 参加団体・組織 |                                                                                                                      | 参加人数 |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 市民団体    | 亀成川を愛する会、ラーバン千葉ネットワーク、谷田武西の原っぱと森の会、里地里山保全ねっと、小林住みよいまちづくり会、吉高の大桜を守る会、結縁寺里山保存会、印西里山パラダイス、INZAI みんなの防災プロジェクト、フードバンク ISS | 20 名 |
| 研究機関等   | 国立環境研究所、東京情報大学（元）                                                                                                    | 3 名  |
| 印西市     | 印西市長、環境経済部、環境保全課、都市整備課、市民活動支援センター                                                                                    | 8 名  |
| 事務局     | SODO                                                                                                                 | 2 名  |

| 時間          | プログラム | 内容                                                                                          |
|-------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 14:00～14:10 | 開会    | 印西市藤代市長ご挨拶                                                                                  |
| 14:10～15:00 | 基調講演  | 「みんなで考えよう里山保全の次の一手」<br>国立環境研究所気候変動適応センター副センター長 西廣淳氏／（質疑）                                    |
| 15:00～15:45 | 話題提供  | ・いんざい里山グリーンインフラ推進協議会取組紹介<br>・協議会参加団体取組紹介<br>ラーバン千葉ネットワーク／亀成川を愛する会<br>谷田武西の原っぱと森の会／里地里山保全ねっと |
| 15:50～17:20 | 意見交換会 | 3 グループに分かれて、グループディスカッション                                                                    |



(基調講演)



(話題提供)



(グループディスカッション)

## ■協議会参加団体からの情報提供



(ラーバン千葉ネットワーク)



(亀成川を愛する会)



(谷田武西の原っぱと森の会)



(里地里山保全ねっと)

## (2) グループディスカッションでの意見交換の概要

### 【グループ1】

#### 1. いま起きている困りごと

##### ① 人が足りない・続けるのが難しい

- ・活動している人の高齢化が進んでいる
  - ・担い手不足で、地元で継続して関わる人が少ない
  - ・若い人、とくに子育て世代や子育てが一段落した人にも参加してほしい
  - ・「市民団体に入る」こと自体がハードルになっている
- ⇒関わる入口を増やす必要がある

##### ② 農家さんとの関係づくりが難しい

- ・外から来た人が、知らないうちに農作業の邪魔になる行動をしてしまうことがある
  - ・地域の中に入って、丁寧に関係をつくっていかないといけない
  - ・農家さんと関わるなら、お互いに納得できる関係が必要「互惠関係」
- 例：草刈りをする代わりにお米を買わせてもらう
- 例：竹林を整備する代わりにタケノコ掘りを認めてもらう

##### ③ 道具・人手・情報がばらばら

- ・機械や人手の共有が必要（必要なときに借りられる、助け合える仕組みがない）
- ・里山の活動について「そもそも知らない」市民や市民団体が多い
- ・もっと情報を共有、発信をしてほしい
- ・情報の共有／場所の共有／人材や機材の共有が必要

## 2. どうしたいか

- ・これまでのような薪炭林としてのような里山の活用を目指したい
- ・子どもが参加すると親も一緒に来るので、子ども向けの入口があれば、親にも里山再生活動に関わってほしい
- ・里山基金をつくりたい（お金が循環する仕組み）  
⇒「活動に参加できなくても、寄付するだけでも十分」という関わり方があってよい
- ・印西の里山は都内にも空港にもアクセスしやすい  
⇒もっとその価値が活用できると良い
- ・外国人にも里山の価値がある（体験・学びの可能性）



## 【グループ2】

### ①連携や活動の拡大

- ・地域内と外部（よそ者）との距離や関わり方
  - ⇒活動するメンバーが少人数であり、今後も活動を実施するにあたっては、少しずつ活動に参加いただける方を募集していく必要があるが、その場合、場所によっては、「よそ者」となり地域住民との調整が難しいこともある。
  - ⇒「外（よそ）」との関わり方として、数回顔を出してもらいつつ、見学だけなら OK から、関わりや共感を広げ、活動に参加する流れもある。
- ・土地を活用するメリットがない（土地所有者の）
  - ⇒活動場所の所有者や周辺住民は、自分たちの土地に入ることや活用することへのメリットがない。
- ・農家との連携
- ・学校との連携
  - ⇒先生によって、依頼されたり、調整・実現が難しかったりと異なる。防災教育の一環として、防災かまどで竹ご飯をつくったり、ランプをつくるワークショップをしており、好評である。（本埜中学校と連携）
  - ⇒情報発信には、「スクリレ」を活用している。
- ・団体間のイベントのコラボ
  - ⇒マルシェは駅の近くで実施するため、実際に里山を見てもらうなど、連携ができそう。
  - ⇒防災と里山環境（竹の活用も含めて）のイベントのコラボができると良い。
- ・竹の活用（竹のネットワーク）
  - ⇒イルミライ INZAI のイベントでマルシェを実施した。そこでは、里山の風景をかんじてもらうため、竹ごはんや竹ライト等を販売した。好評であった。
  - ⇒竹の処分に困っている場所とバイオ炭が実施できる場所、切った竹を少しもらってワークショップ等に活用するなど、竹の活用のネットワークは直ぐに構築できそう。

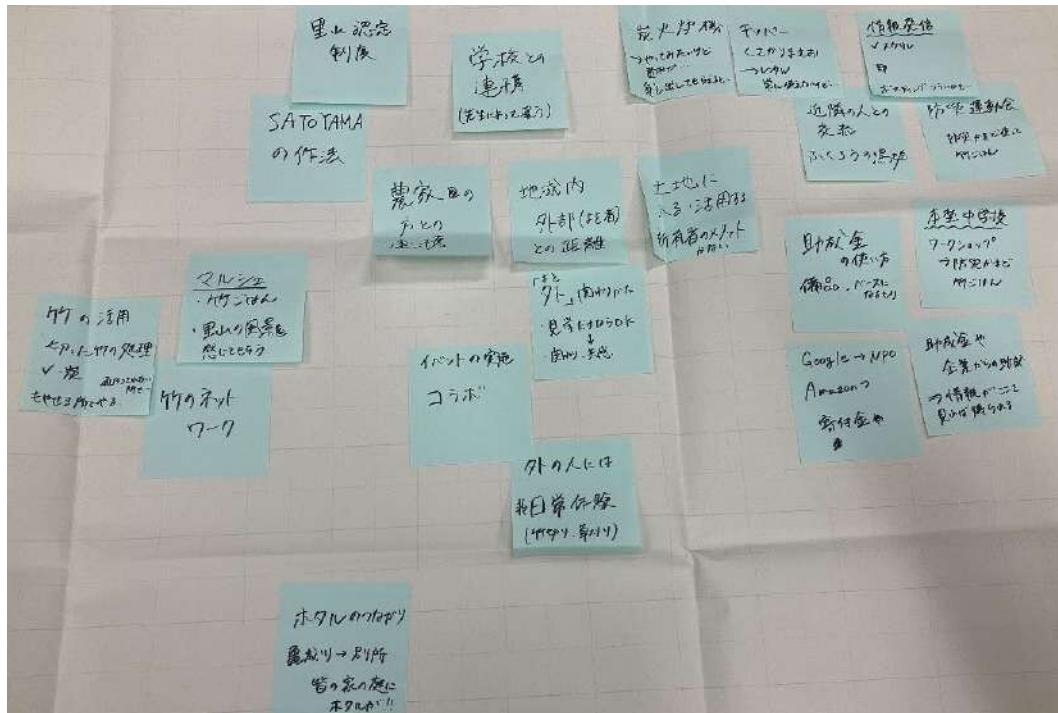
### ②協議会や市全体で検討できるとよいこと

- ・里山マネジメントの認定
  - ⇒里山に入るときに作法（最低限注意した方がよいこと）をまとめた冊子があるとよい。
  - ⇒里山もそれぞれ活動場所で特徴があると思うので、その特徴に応じて認定制度があるとモチベーションやPRにも繋がりそう。
- ・助成金
  - ⇒印西市で活動する時によく使用するのは「千葉銀ファンド」である。
  - ⇒最近、企業による助成金もある（Google はNPO対象、Amazon など）
  - ⇒活用できる助成金や制度の情報が一カ所に集まっていると活用しやすい（どこをどう検索してよいかわからない）
- ・機材の共有
  - ⇒たまにしか使用しないものや、気になっている取組があるが機材が無くて実施にいたっていないなどもある。
  - ⇒炭化機（バイオ炭に興味のある団体多数）やチップパー（切った竹の処分に活用したい）、斜面でも活用できる草刈機（作業の効率化）などがあると良い。

③その他

## ・印西市の魅力

⇒印西市に移住してきたが、近隣の方との交流や夜にはふくろうの鳴き声等が聞こえ、自然と便利が両立したまちだと思っている。



【グループ 3】

### ①地域との関わり

- ・団体には所属してなくても、活動の際には地域の若者なども手伝ってくれている。  
⇒地域との関わりの形の一つ
- ・自身の所有している山林で隣地保有者等から大木を伐採して欲しいという依頼が来て、誰にお願いしようかと困ったことがある。最終的に地域に林業関係者に相談して、格安で対応してもらったが、そのような時（困りごと）に相談できる組織・窓口などがあると有難い。  
⇒地域の困りごとを解決するような活動を実施し、地域との関係を構築している団体もある。  
⇒千葉里山センターは、そのようなこと（樹木診断や伐採など）について相談に乗ってくれると思う。
- ・地域の農家とのお付き合いはいろいろと課題があり、地域外からの来訪者が多くなると、どうしてもマナーが悪い方とのトラブルなどがあり、それが里山保全活動へのネガティブなイメージにつながってしまう。

## ②担い手の確保

- ・活動の際には地域の若者なども手伝ってくれているが、団体の後継者は悩ましい問題
  - ・自分自身は市民アカデミーに入って、研究テーマとして里山を取り上げたことがきっかけとなり、研究テーマの話を聞くために複数の里山保全活動団体を訪問した結果、現在の活動につながったという経緯がある。
- その際、複数団体を訪問したが、それぞれの団体に特徴がある。意外に団体同士の付き合いが少ないと感じた。

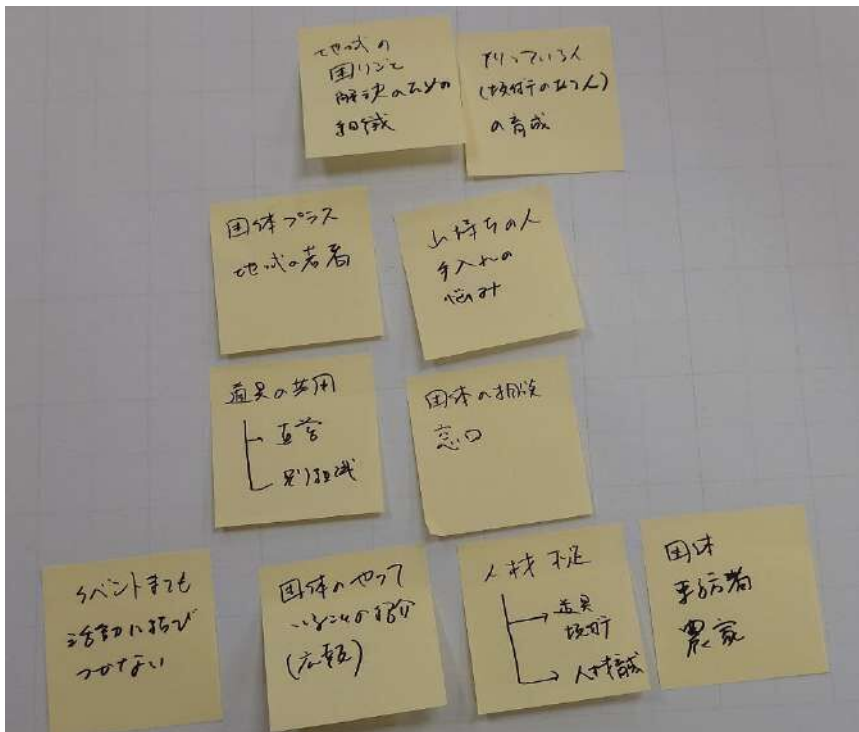
- ・活動で“楽しむ”ことや、里山の恵み（森の幸などの収穫物など）を楽しむことをしている。
  - ・イベントをやると多くの方が参加してくれるが、それらの方が団体に入ってくれるといったことはなく、担い手の確保にはつながっていない。
- ⇒幅広い参加者を対象としたイベントと担い手の確保とは別に考える必要がある。

### ③作業の効率化（道具）

- ・ハンマーナイフモアがあると、草刈り作業の効率が飛躍的にアップする。1日2万円程度でレンタルが可能である。
  - ・購入やレンタルして利用している団体もあるが、このような機材が複数団体で共有できると、非常に助かる。市で購入して貸し出し等は難しいのか。
- ⇒初期の購入は実施できても、貸し出しや機械の維持管理等を市直営で対応するのは難しいのではないかと。担い手（中間支援組織等）がいればできるかもしれない。
- ⇒クリーン推進課でチップターの貸し出しをしているので、仕組み的にはできるのではないかと。
- ⇒機械化による効率化は、担い手不足問題の別の対策とも捉えられるので、今後の取組としては重要な要素である。

### ④情報提供・交流

- ・各団体の取組を広く紹介することは、市民の理解促進や担い手となり得る人材にリーチする第一歩の情報提供となるが、団体のHPをこまめに更新することなどができておらず、協議会のHP等で情報提供をしてもらえると有難い。
- ・今回の交流会をしてもらって非常に有難かった。このような機会は情報交換や交流の場として貴重であるが、これまではなかった。



### (3) 参加団体からの声（後日連絡）

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・日曜日の交流会を企画していただきありがとうございました。ファシリテーターの方や市の職員さんの手助けもあり、他団体の方ともお話ができ大変ありがたい場をいただきました。</li><li>・私どもの活動は里山保全の部分が弱くフィールドも特に決まっていなかったため、グリーンインフラの中での必要性がないのではと思っていましたが、他団体さんと違う切り口で協力し合えることがわかったことが、今回の交流会での収穫でした。</li><li>・私たちも里山保全も含め勉強し、技術や作業も含め地域への貢献を進めていきたいと思いました。</li></ul> |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・とてもいい経験をさせていただきました。知らないことがたくさんあり、メンバーみんなで勉強になったね〜と語りながら帰路に着きました。</li><li>・次の定例会で、他のメンバーにも交流会の報告をする予定です。</li></ul>                                                                                                                                                           |

### (4) 今後に向けて

#### ①担い手の確保

- ・裾野の拡大（広報、市民アカデミー）
- ・市外との連携
- ・農家との連携
- ・学校との連携
- ・楽しめる活動

#### ②地域との関係構築

- ・地域住民の団体や活動への参加
- ・農家との関係（互惠関係、
- ・広報（何をやっているのか）

#### ③活動の効率化・高度化

- ・人手・機材・技術等の情報共有
- ・機材の共有

#### ④仕組み・制度

- ・里山基金
- ・里山マネジメント（作法、認定制度）
- ・機材貸出・共有の仕組み
- ・里山基金

#### ⑤情報共有・発信

- ・各団体の紹介（協議会 HP）
- ・機材・技術等の情報共有（再掲）
- ・制度・助成金の情報共有
- ・交流会の継続開催

#### ⑥その他

- ・団体コラボイベント
- ・竹の活用

## 印西環境フェスタへの出展の振り返り／今後のアクション

## (1) 出展概要／来訪者の様子等

- ・全般的に展示内容については、比較的良かったのではないかと。ブースに入り、マップを見ながら話が弾むケースもしばしば見られた。
- ・印西市のみどりを大切に感じている市民の声が多かった。
- ・グリーンインフラについて知っている層が思いのほか多かった。また、かなり強い関心を持っておられるコアな層も一定数おられた。
- ・子供向けにはクイズがあった方が良いという声が聞かれた。
- ・協議会・各団体のチラシの他に、市の環境の冊子（印西市の自然環境）やグリーンインフラ一般に関する資料などを置いたが、持ち帰る人が結構多かった。

## ■今後の課題

⇒コンテンツの充実（クイズ、展示物、配布資料）



## (2) マップ

- ・最終的には10団体を掲載。さらにいくつか追加ポテンシャルはある。



## (3) チラシ ※別紙（資料4－2）

## (4) 今後に向けたアクション

### ①市民活動団体関連

- ・フェスタ出展のフィードバック（＋意見募集？）
- ・マップの掲載等で協力していただいた団体、当日会話した団体について、活動内容や課題などを聞く場（ヒアリングなど）などを設けるなど、情報収集、関係構築を図る。  
※次年度提案とも関連
- ・継続的なコミュニケーション ⇒ 交流会・協議会への参加につなげる

### ②マップ関連

- ・市保有地・管理地に関する情報の重畳  
⇒今回、最終的に活動場所の掲載を見送った里地・里山保全ネットさんは市保有地での活動を行っているとのことだが詳細不明 ⇒他の団体も含めて現状把握をまずはきっちりとすることが必要（公表データに含めるかどうかは今後検討）

### ③その他コンテンツ関連

- ・コンテンツの充実（クイズ、展示物、配布資料）
- ・印西里山マップについて、HPに掲載されているデータを確認したが、編集は困難であることが判明したため、オリジナルデータの入手について確認

# いんざい里山グリーンインフラ団体交流会のご案内

主催：印西市環境保全課（いんざい里山グリーンインフラ推進協議会）

印西市には、市街地の近くに豊かな里山環境（台地上の草原・畑、樹林、湧水、水田、谷津等）が残されています。また、印西市内には、里山等の緑の保全や、その活用（里山で楽しむ・遊ぶ）をしている市民団体が多くあります。

いんざい里山グリーンインフラ推進協議会は、このような市民団体同士、あるいは市民の方や事業者など、多種多様な主体の連携を図り、「生物多様性」、「水循環」等のグリーンインフラ機能の保全・管理体制を構築し、地域活性化につなげることを目指しています。

今回の交流会では、印西市内で活動している市民団体同士の交流を図り、活動における課題の解決につながる情報交換や、活動に役立つ情報提供を行うことを狙いとして開催します。

お互いの団体のことを知っているようで、意外に詳しい活動などを知らない場合もあるのではないのでしょうか。団体同士が気軽に交流していただける場として企画しましたので、是非ご参加ください。

## 日 時

2026/2/11（水・祝）

14:00～17:30（予定）

## 定 員

50名程度（事前申込制）

参加無料

## 対 象

印西市の里山環境の保全・活用やグリーンインフラの取組に関心のある市民団体、個人

※同じ団体から複数名でご参加いただけます。

※団体等に所属していなくても、内容に関心のある方はご参加いただけます

## 申込方法

下記URLまたはQRコードよりアクセスし、必要事項をご記入の上、お申込みください。

申込締切：2026/1/31（土）

※定員に達し次第締め切らせていただきます。

### ▼お申込みフォームURL

<https://forms.gle/UqXyvoDGFgA34Z3L7>

### QRコード



### ■お問合せ

協議会事務局：一般社団法人SODO

mail: [sodo-info@so-do.or.jp](mailto:sodo-info@so-do.or.jp)

## 場 所

印西市文化ホール（2F多目的室）

### ■交通アクセス

・車でお越しの方：駐車場あり

・公共交通機関でお越しの方：JR成田線 木下駅 徒歩15分

：北総線千葉ニュータウン中央駅よりバス15分



## プログラム概要

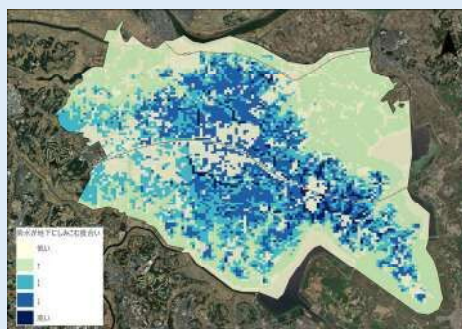
※内容については、一部変更される場合があります

| 時間          | プログラム | 内容                                                                                      |
|-------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 14:00～14:10 | 開会    | 印西市藤代市長ご挨拶<br>趣旨説明                                                                      |
| 14:10～14:40 | 基調講演  | （仮題）印西市の自然環境の現状とグリーンインフラ<br>国立環境研究所気候変動適応センター副センター長 西廣淳氏                                |
| 14:40～16:30 | 意見交換会 | （話題提供）いんざい里山グリーンインフラ推進協議会の取組<br>（参加団体からの発表）活動内容・活動地の自然環境・活動における課題・協議会に期待すること等<br>（意見交換） |
| 16:30～17:30 | 交流会   | ポスター展示（参加団体やグリーンインフラの取組等に関する展示）<br>交流会（参加者相互に自由に交流いただきます）                               |
| 17:30       | 閉会    | 提案7－21                                                                                  |

# いんざい里山グリーンインフラ推進協議会

印西市には、里山等の緑を保全・活用する活動をしている市民団体が多くあります。協議会では、里山保全活動団体や市民、関心のある企業など、多種多様な主体の連携を図り、印西市の里山における、「生物多様性」、「水循環」等のグリーンインフラ機能の保全・活用に向けた管理体制を構築し、地域活性化に資することを目指します。

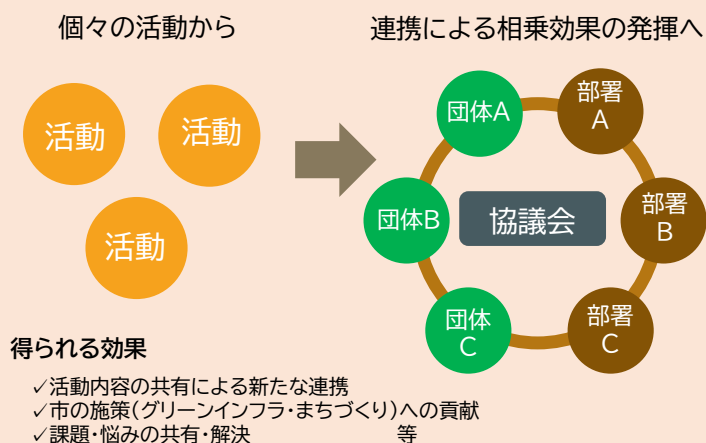
グリーンインフラを  
取組む場所を可視化し  
地域に提案します



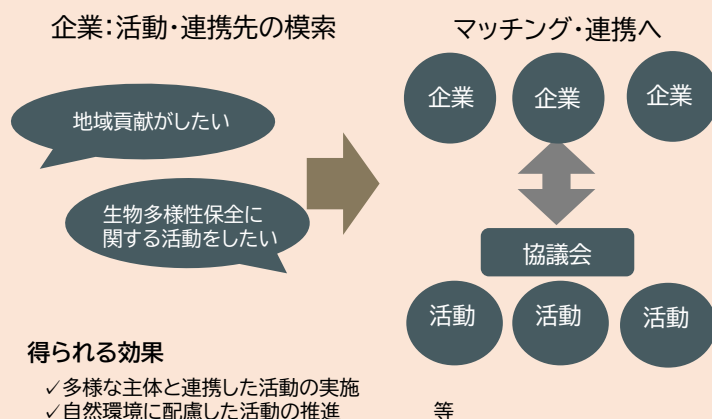
多様な主体と連携します

取組内容の情報発信や  
イベント等を実施します

## ①市民活動団体間の連携



## ②企業との連携



## ■グリーンインフラとは？

「グリーンインフラ」とは、自然環境がもっている機能（地形、水の循環、生物など）を社会におけるさまざまな課題解決に活用しようとする考え方です。

既存の人工的なインフラと機能を補い合うことで、災害リスクの回避・軽減、地下水の涵養、水質の浄化、生態系の保全など、社会を安全で豊かにする役割が期待されるほか、持続可能で魅力ある都市や地域づくりにも役立ちます。



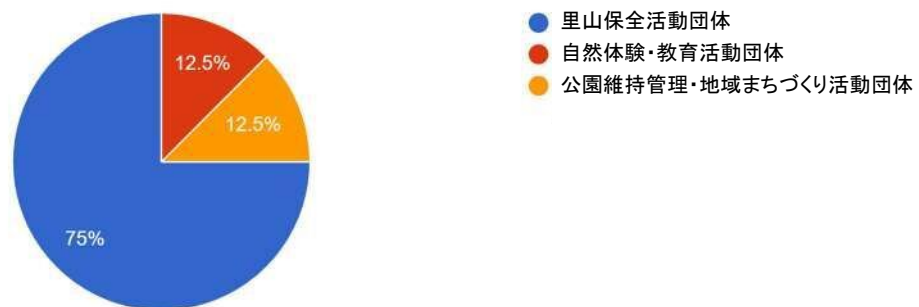
グリーンインフラ実践ガイド、R5.10、国土交通省をもとに編集

## 交流会事前アンケート結果

交流会の開催にあたり、里山の保全・活用を行っている団体の活動内容・活動地の自然環境・活動における課題・協議会に期待すること等を把握するために実施した。（回答：8 団体）

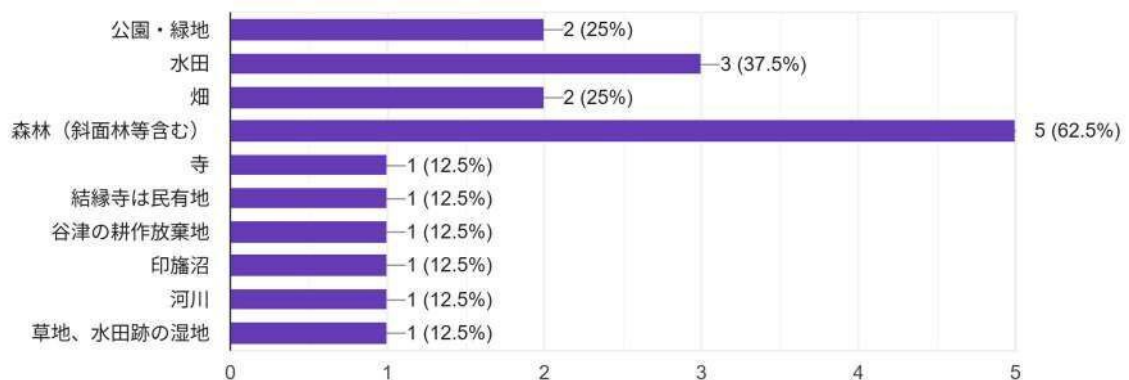
### （１）回答団体の種別

8 件の回答

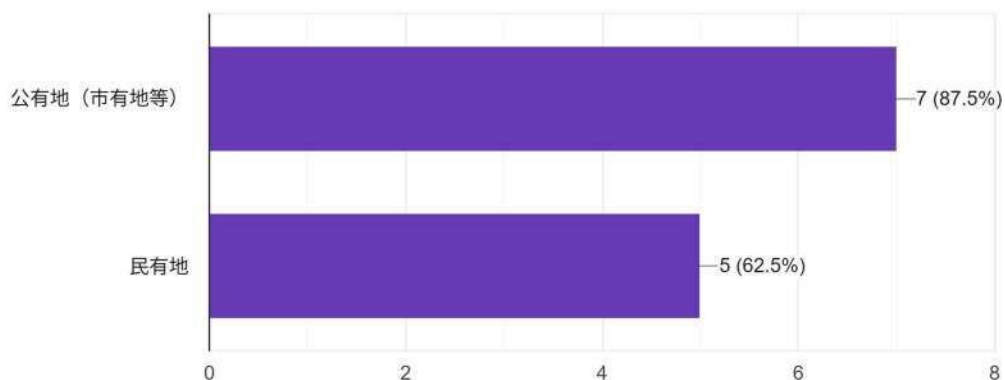


### （２）活動場所

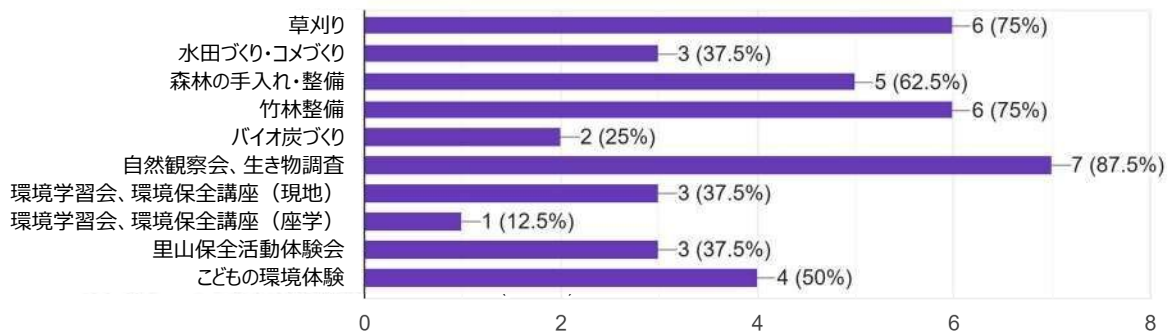
#### ■土地利用



#### ■土地保有の状況



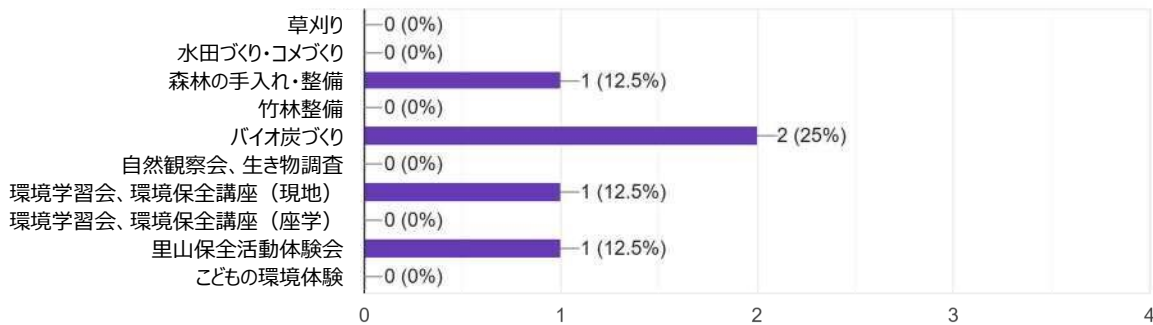
### (3) 活動内容（現在）



#### ■ その他

- ・竹灯籠作りなど伐採竹を使ったワークショップ
- ・印旛沼遊び
- ・印旛沼掃除
- ・川の保全
- ・池の保全と復活のための沈水植物管理
- ・外来種駆除
- ・草原植生管理

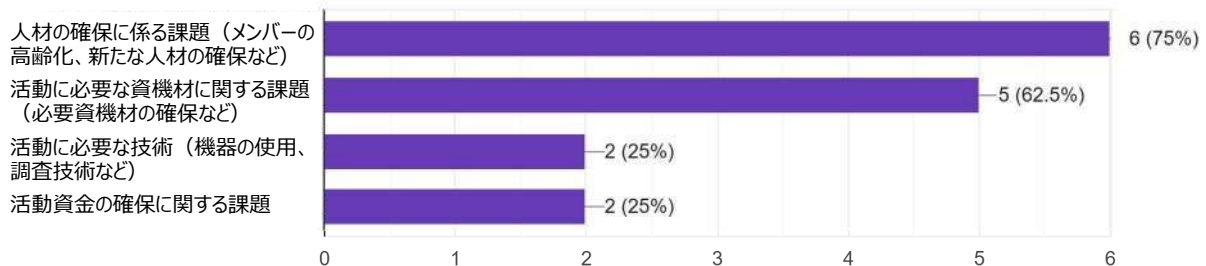
### (4) 今後実施してみたい活動内容



#### ■ その他

- ・フィールドの整備

### (5) 活動における課題



#### ■ その他

- ・交通費くらいは支給したい。会計や事務局人件費をきちんと支払いたい。

#### ■ 詳細な課題の内容や支援を希望することなど

- ・里山の整備を効率的に行うためにはチップパーとハンマーナイフモアがあると効果的です。しかし、どちらも高価で、維持管理についても単体では負担が大きくなるので共用できるシステムがあると良いです。
- ・人材の確保について、里山ボランティアセンターのようなものを立ち上げてほしい。会員にならなくても、自分の都合で参加できる形がよい。
- ・特に事務関係の人材がほしい

## （６）活動における課題に対して実施している工夫

※一部個別具体的な回答内容については、表現を丸めて記載しています。

### ■人材確保について

- ・人づて
- ・年に一度音楽会を開催して３００名ほどのお客様を集めるイベントをしています。この時に私たちの想いをお話すると、参加しやすい観察会等のイベントを紹介してイベントに参加頻度の高い人を、会員にお誘いするようにしています。  
この時実際の保全作業には、参加できなくても、会費だけ頂ける人も、有力なサポーターであるという認識でいます。
- ・イベントを行う際は、他団体の方に声をかけ手伝ってもらふこともしばしば。  
横のつながりに頼っている状態。
- ・どの世代の方も楽しめるように告知をしている
- ・目に見える効果がないのでかけない。
- ・できるだけ人の手を小さくして維持できるようなシステムを構築しているところですが、やはり集中的に人の手が必要な場面が必ずあります。他の団体・大学や企業の方々にとってもお世話になっています。

### ■資機材の確保について

- ・人づて
- ・使用頻度の低いものは他団体からレンタルしている
- ・助成金を申請して、購入できるようにしています
- ・助成金をとる。
- ・熟練しないと使えないような機材を避け、電動で動く機器や乗用の草刈り機などを選んでいきます。安全性を考え、講習会の開催は年に一回開いています。

### ■活動に必要な技術について

- ・チェーンソーや仮払い機の使い方講習会を開いています。
- ・他都市の任意団体に竹の加工技術を教えてもらっている。
- ・専門家に教えてもらうようにアンテナを張っています
- ・講師招聘
- ・あおぞら講座などを開催して最新の研究を学んだり、技術の講習をおこなっています。また、研究者とフィールドをともにして、監修していただいています。

### ■活動資金の確保について

- ・千葉銀ファンド
- ・貴重種の保全をしながら、整備事業を印西市さんから受託しています。他の業者には、貴重種の保全をしながら、整備するという丁寧な仕事は困難かと思われますので随意契約にいただいています。
- ・民間企業からの資金もいただいて、案内のソフトウェアを整備します。
- ・補助金を活用している
- ・助成金に応募予定。ワークショップやイベントで竹灯籠作りや竹灯籠の販売
- ・助成金を申請するとともに、参加費をいただくようにしています
- ・人件費や交通費が項目にある助成金を探す。しかしながら、実際には人件費や交通費にはまわらないのも事実。
- ・活動資金は助成・交付金・印西市の協働事業委託金などを利用。その他必要な資金については企業の委託金などを充てています。

## (7) その他団体の活動に関連する意見など

- ・「田園と都市とが支えあうまちづくり」という理念に元に活動しています。自分たちの活動が、印西市のまちづくりに少しでも貢献できているという思いが、活動を続けてきたまた、これからも続けられるというエネルギーです。
- ・里山の有用性（里山の産物/恵み）を意識して活動している
- ・2024 年度より
  - ①小さな人手、少ない予算で保全・保護管理ができる
  - ②初歩的な知識でだれでも保全作業ができる
  - ③事業参加市民の数を増やし、フィールドへの関心を大きくする
  - ④会員数を増やすを課題として、事業を進めています。2026 年度は同テーマの 3 年目の節目となりますが、①②については草原性植生管理マニュアルの作成と試みにより、システムが出来上がってきました。③については、あおぞら講座や子ども里山学校という企画の月に 1 回の開催を目指して計画し、参加者に楽しんでいただいています。また、企業のプログラムにもとても助けられています。

## (8) 印西市の自然環境やグリーンインフラの取組等に関する意見

- ・豊かな自然に囲まれているまちと、利便性のある都市の複合自治体であるという価値を町内外の人たちに理解していただくのは、時間と手間がかかることだと認識しています。  
この取組によって、目に見える形で、その価値が皆さんに理解していただける機会が早く訪れそうだと期待しています。
- ・印西市の里山環境は高齢化や担い手不足で荒廃が進んでいる。改善するには市街地の住民が担い手となって地域や行政と協働で保全するのが良いと考える。  
そのためには、里山や環境に興味のある住民の「やりたいことや得意な事を生かして」楽しく活動できるシステムが必要だ。
- ・興味のある人は多いと思うので、情報をもっと共有してほしい
- ・印西市は、里山や谷津、水辺などが生活圏の中に残っており、自然を「遠いもの」にせずに関われる地域だと感じています。  
今後、グリーンインフラの取組が、子どもや市民が実際に自然に入り、体験を通じて理解を深める仕組みと結びついていくと、より価値が伝わるのではないかと思います。
- ・現状のままでは、谷津は荒廃し、台地はほぼ宅地になるでしょう。どう本気で取り組むかが課題。
- ・グリーンインフラについては、積極的に行政の施策に取り入れられ、また環境団体と市がとても近い立場で協働できています。今後とも期待しています。

## R7協議会での取組内容(当初提案内容に対する振り返り)

1

| 協議会での取組内容                                                                                                                                                                                                                                 | 対応済／実施中                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>① 対象地(印西市の緑地等)の現況把握</b><br>協働によるグリーンインフラの保全・活用が実施可能な場所を把握するため、 <b>印西市における緑地等のマップ・リストを作成</b> します。<br>【具体的な実施内容】<br>・市有地・管理地等に関する情報提供(印西市)<br>・グリーンインフラとしてのポテンシャルの分布(国立環境研究所)<br>・上記情報のマップ(GISによる作業を想定)の作成(SODO、国立環境研究所)                 | ・市有地・管理地(公園・緑地)データのデジタル化(GISデータ作成)<br>・ポテンシャルマップの重ね合わせ(GISデータとして整備)<br>※印西市内のグリーンインフラとしてのポテンシャルの分布の可視化 |
| <b>② 印西市における里山保全活動団体等の現況把握</b><br>協働によるグリーンインフラの保全・活用の <b>担い手となり得る活動団体等を把握</b> します。<br>【具体的な実施内容】<br>・市内の活動団体等に関する情報提供(印西市)<br>・活動団体の現状や課題の把握(NPO3者)※交流会等でも把握<br>・上記情報の整理(SODO)                                                           | ・市内の活動団体のリストアップ<br>・団体活動場所のマップ表示<br>・団体へのヒアリング<br>・交流会での現状把握<br>※各団体との連携の環境整備                          |
| <b>③ 対象地における事業計画の検討</b><br>上記①②を基礎データとして、印西市の <b>緑地等におけるグリーンインフラの保全・活用に関する新たな取組を検討</b> します。<br>【具体的な実施内容】<br>・先進地域における取組調査、印西市での適用に係る検討(SODO、国立環境研究所)<br>・協働による新たなグリーンインフラの保全・活用の新たな取組(場所、担い手)に係る検討(協議会)<br>・自然共生サイトへの登録に係る検討(NPO3者、SODO) | ・国や他地域等での事例調査<br>・担い手確保方策に関する検討<br>・自然共生サイトへの登録に関する作業支援<br>※今後のグリーンインフラの保全・活用に向けた取組の検討・実施              |

## R7協議会での取組内容(当初提案内容に対する振り返り)

2

| 協議会での取組内容                                                                                                                                                                                                                                                                    | 対応済／実施中                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>④ 多様な主体の連携に係る検討</b><br>多様な主体の連携による印西市内のグリーンインフラの保全・活用を推進するため、 <b>市民活動団体間、市民活動団体と企業、住民等との連携促進に係る検討</b> を実施します。<br>【具体的な実施内容】<br>・先進地域における取組調査、印西市での適用に係る検討(SODO、国立環境研究所)<br>・市民活動団体の課題(②)を踏まえた連携のあり方の検討(協議会)<br>・市民活動団体間の交流促進のための交流会の開催(協議会)<br>・様々な主体の連携につながるイベントの開催(協議会) | ・国や他地域等での事例調査<br>・団体へのヒアリング<br>・交流会の開催<br>※連携に係る課題の把握・連携に向けた環境整備                                                          |
| <b>⑤ 協議会の継続的な運営のあり方の検討</b><br>本事業で設置する協議会は今後も継続的・発展的に運営されることが望ましいことから、継続的な運営を可能とする <b>運営体制、取組内容等について、検討</b> します。<br>【具体的な実施内容】<br>・先進地域における取組調査、印西市での適用に係る検討(SODO、国立環境研究所)<br>・運営のあり方に係る検討(協議会)                                                                              | ・取組結果を踏まえた課題や方向性の整理(これまでの協議会で議論してきた協議会の目指す姿)                                                                              |
| <b>⑥ 事業の広報</b><br>1)事業内容・事業成果の情報発信(ホームページ)<br>・事業で作成したマップや資料、協議会での検討結果等の情報発信(印西市、SODO)<br>2)イベント等の企画・開催<br>a)グリーンインフライベント：一般市民・若者・企業向け(協議会)<br>b)庁内勉強会の開催：印西市役所内行政職員向け(SODO、国立環境研究所)<br>c)里山保全団体交流会の開催(NPO3者、SODO)                                                           | ・いんざい環境フェスタ(6/7)<br>・交流会(2/11)<br>・庁内勉強会(3/17)<br>・協議会HPの構築：各イベントの開催結果紹介、協議会資料共有、<br>第12回協議会、交流会、庁内ワークショップの追加<br>マップ掲載の調整 |

## 活動・取組予定(R8年度事業計画案)

3

| 取組内容                     | 活動・取組内容(R8)                                                                                                                                                       | 目的／期待する効果                                                                                                 |
|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 多様な主体の連携の土台作り(交流、情報発信) | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ イベント等の企画・開催<br/>里山保全団体交流会、イベントでの情報発信・交流</li> <li>■ 事業内容・事業成果の情報発信(ホームページ)</li> <li>■ 庁内でのグリーンインフラに関する理解醸成への協力</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者の交流・連携促進</li> <li>・グリーンインフラや保全活動による価値に関する情報発信(理解醸成)</li> </ul> |
| ② 里山保全活動団体の取組推進支援        | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自然共生サイト登録の支援</li> <li>■ 対象地での活動の量的・質的向上の支援</li> </ul>                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保全活動の質的向上や量的拡大</li> </ul>                                         |
| ③ 多様な主体の連携推進の検討          | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 里山保全団体等に対するヒアリング</li> <li>■ 庁内関係部局との連携可能性調査</li> <li>■ 事業者のニーズ等の把握</li> </ul>                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な主体による連携に向けた情報収集、土台づくり</li> </ul>                               |
| ④ 対象地(市所有・管理地)の現況把握      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ マップの更新・追加</li> <li>■ 自然環境調査委託との連携</li> </ul>                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境の現状把握</li> <li>・基盤となる基礎情報</li> </ul>                          |
| ⑤ 連携の仕組みのあり方／継続的な運営方法の検討 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ プラットフォームの持つべき機能の検討</li> <li>■ 継続的・発展的運営の検討</li> </ul>                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラットフォームのあり方の検討</li> </ul>                                        |

### ■ 活動実績によって把握した課題

- ・印西市の自然環境の現状やグリーンインフラに対する市民理解醸成に係る活動の充実
- ・自然環境の保全・活用を行っている団体等の的確な現状(活動実態や課題等)の把握
- ・行政内部におけるグリーンインフラの理解促進
- ・事業者の課題・ニーズの把握

市民活動団体、研究機関、企業、行政が一体となる、全国でも先進的な官民連携の仕組み・場を構築

## 活動・取組予定(R8年度事業計画案)

※最終提案記載内容

4

### ■ 協議会の開催方法・頻度

- ・協議会構成メンバーの増加を目指し、コアメンバー会議(全体会議開催月を除き1回/月程度)、全体会議(年2回程度)を開催することを想定  
⇒新たな協議会メンバーの募集
- ・全体会議は、協議会構成員に加え、オブザーバー参加も含めた開催を想定
- ・交流会を効果的に組み合わせて、市民活動団体等が協議会に参加しやすい環境を整備

| 区分       | 頻度                     | 主な議題等                                                                           |
|----------|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| コアメンバー会議 | 1回/月程度※<br>※全体会議開催月を除く | 協議会運営に関する事項、協議会での調査・検討に関する事項、イベントや取組の企画に関する事項                                   |
| 全体会議※    | 年2回程度<br>※うち1回は交流会と共催  | 活動(里山の保全・活用)における課題の共有・議論、活動に役立つ情報の共有、印西市における里山の保全・活用、グリーンインフラ推進に関する議論、先進事例等の紹介等 |

### 内容等について議論

## ■印西市:グリーンインフラとしての機能※が維持された魅力ある都市・地域

※生物多様性、気候変動への対応、防災・減災、水循環、水質浄化、ウェルビーイング(幸福)の向上など

### ■協議会の活動

- ①市民等にグリーンインフラや保全活動による価値をわかりやすく情報発信(理解醸成)
- ②市民活動団体と環境に関心のある市民や事業者を橋渡しする仕組みづくり(プラットフォーム)

### ■協議会として目指す状態

### 目指す状態、KPIについて継続議論

#### 【短期(1～2年)】

- ・保全活動団体の現状・課題が把握・共有され、協議会を通じて連携する土台ができている。
- ・行政内部の政策課題とグリーンインフラの関係が関係部署において把握・共有されている。
- ・上記に関連する連携の動きが始まっている。

#### 【中期(3～5年)】

- ・市民・事業者に里山・グリーンインフラ、活動の価値が理解され、浸透している。
- ・保全活動団体、活用団体、事業者、行政の連携による取組が多発的に始まっている。
- ・協議会が団体、事業者等の連携の場として機能している。

#### 【長期(10年程度)】

- ・保全活動団体、活用団体、事業者、行政の連携によって、里山・グリーンインフラが適切に保全・活用されている。
- ・活動のプラットフォームとして協議会が機能している。

## ロードマップ(案)

| 取組内容                     | 目的／期待する効果                                   | 活動・取組内容(案)                                               |                                                                      |                                                                      |
|--------------------------|---------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
|                          |                                             | R7年度(協議会設立)                                              | R8年度(設立2年目)                                                          | R9年度(設立3年目)                                                          |
| ① 多様な主体の連携の土台作り(交流、情報発信) | ・関係者の交流・連携促進<br>・GIや保全活動による価値に関する情報発信(理解醸成) | ■ イベント等の企画・開催<br>交流会、イベント<br>■ ホームページ立ち上げ<br>■ 庁内との連携・協力 | ■ イベント等の企画・開催<br>交流会、イベント<br>■ 事業内容・事業成果の情報発信(ホームページ)<br>■ 庁内との連携・協力 | ■ イベント等の企画・開催<br>交流会、イベント<br>■ 事業内容・事業成果の情報発信(ホームページ)<br>■ 庁内との連携・協力 |
| ② 里山保全活動団体の取組推進支援        | ・保全活動の質的向上<br>や量的拡大                         | ■ 自然共生サイト登録(1)<br>■ 対象地での活動の量的・質的向上の支援<br>⇒支援内容検討        | ■ 自然共生サイト登録(2)<br>■ 対象地での活動の量的・質的向上の支援<br>⇒内容・ロードマップ設定               | ■ 自然共生サイト登録(3)<br>■ 対象地での活動の量的・質的向上の支援<br>⇒支援開始(スタート)                |
| ③ 多様な主体の連携推進の検討          | ・多様な主体による連携に向けた情報収集、土台づくり                   | ■ 里山保全団体等に対するヒアリング<br>■ 先進的な取組・事例<br>■ 企業との連携メニュー        | ■ 里山保全団体等に対するヒアリング<br>■ 庁内関係部局との連携可能性調査<br>■ 事業者のニーズの把握              | ■ 里山保全団体等の課題・要望<br>■ 庁内関係部局・施策との連携<br>■ 事業者との連携方法・内容・体制              |
| ④ 対象地(市所有・管理地)の現況把握      | ・自然環境の現状把握<br>・基盤となる基礎情報                    | ■ マップの作成(活動地・団体の可視化)<br>■ ポテンシャル(NIES)                   | ■ マップの更新・追加<br>■ 自然環境調査委託との連携                                        | ■ マップの更新・追加<br>■ 生物多様性地域戦略との連携                                       |
| ⑤ 連携の仕組みのあり方／継続的な運営方法の検討 | ・プラットフォームのあり方の検討                            | ■ 協議会の目指す姿                                               | ■ プラットフォームの持つべき機能の検討<br>■ 継続的・発展的運営検討                                | ■ プラットフォームの持つべき機能の検討<br>■ 事業者連携含めた体制の検討                              |

## ①持続的な管理の在り方について:担い手

- ・高校、大学等との連携
- ・担い手育成の仕組みの構築(Ex.佐倉里山大学)
- ・登録制度 等

⇒協議会でどこまでをカバーするのか

⇒具体的に誰が実施するのか(実施主体、関係者等)

⇒必要な予算はどのように確保するのか

## ②持続的な管理の在り方について:保全活動の方法論

- ・機材の共有
- ・保全活動の方法論・技術の共有・指導
- ・農林業関係者との連携 等

⇒何があれば改善が図れるのか(費用対効果含む)

⇒協議会でどこまでをカバーするのか

⇒具体的に誰が実施するのか(実施主体、関係者等)

⇒必要な予算はどのように確保するのか

# 協議会の活動内容

## ■(仮称)里山活動サポートセンター

持続的な管理に向けた①担い手の確保・育成、②ノウハウの共有・蓄積

※最終的なイメージ

(仮称)里山活動サポートセンター

里山管理に関する  
知識・技術の習得

いんざい里山グリーンインフラ推進  
協議会で講座の検討や講師等を実施

**ターゲット**  
市民活動団体  
一般市民(関心層)

機材の貸出

【課題】  
予算や仕組み等で早々の実現  
は難しい  
【スモールスタート】  
技能を持った支援者(団体)  
との連携

**ターゲット**  
管理活動実施者

登録制度

※活動内容や日時・場所に  
応じて参加したい時に参加  
できる仕組み

**ターゲット**  
一般市民(関心層)

検討事項(案)  
・講座と活動参加への  
繋がり・流れ  
・講座内容の検討  
・実施頻度  
・参加者数  
・予算

R9年度に向けて具体的に検討

<今後、事務局で実施できそうなこと>

- ・事例収集
- ・協議会内で紹介いただく

<講座のアイデア>※これまでの議論のキーワード

- ・機材の安全講習
- ・里山管理による効果
- ・バイオ炭の作り方(竹林整備)
- ・森林整備
- ・里山で見られる生物



<https://www.so-do.or.jp/kyogikai/>

## 協議会概要

### 里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業

#### 印西市の自然（里山）環境の特徴

印西市は、ニュータウン開発等により人口が増加する一方で、市域近郊に豊かな里山環境（谷地上的草原・畑、樹林、湧水、水田、谷津等）が残されている地域です。谷地部は市域の草原・畑・樹林、谷地部は水田地域が形成され、谷地と農地の地には、川の浸食作用によって形成された下段谷地特有の谷津が広がる里山景観を有します。印西市の豊かな里山環境は、生物多様性、防災・減災、水循環、フェルビリーイング（幸福）の向上など、自然環境が持つ様々な機能を活かした「グリーンインフラ」として、複合的な地域課題の解決にも役立ちます。

#### ※グリーンインフラとは

自然環境が本来持っている機能（生物の生息地の提供、景観形成、気候上質の調節、雨水の浸透・貯留、水質浄化など）を、防災・減災、環境保全、国土管理、地域活性化などの課題解決に活用する考え方・手法です。

持続可能な地域づくりを目的として、各地で取り組みが進められています。

#### 印西市の自然（里山）の保全・活用などの現状

近年、都市化の進行や谷津田における耕作放棄地の増加等による緑豊かな環境の減少や生態系の質の低下、景観悪化などが懸念されています。市民・事業者・市の協働による緑の保全の取組の展開が進められています。

中核で一歩的に取組を広げていくためには、活動を行う団体間等の連携が重要です。



[協議会概要](#) [協議会開催記録](#) [活動成果](#) [お知らせ](#) [参加団体](#) [お問い合わせ](#)

## 協議会開催記録



第 11 回協議会 [2026年2月22日]  
公開日：2026年2月23日



第 10 回協議会 [2026年1月22日]  
公開日：2026年1月23日



第 9 回協議会 [2025年12月25日]  
公開日：2025年12月26日



第 8 回協議会 [2025年11月26日]  
公開日：2025年11月27日



第 7 回協議会 [2025年11月6日]  
公開日：2025年11月7日



第 6 回協議会 [2025年9月29日]  
公開日：2025年9月30日

検索

## 協議会開催記録

- 2026年2月 (1)
- 2026年1月 (1)
- 2025年12月 (1)
- 2025年11月 (2)
- 2025年9月 (1)
- 2025年8月 (1)
- 2025年7月 (1)
- 2025年6月 (1)
- 2025年5月 (1)
- 2025年4月 (1)

## 活動報告

- 2025年7月 (1)

## 第 11 回協議会 [2026年2月22日]

公開日：2026年2月23日

日時

2026 年 2 月 22 日 (日) 9:10~11:10

場所

和歌山県 和歌山市 和歌山県庁

議事次第

- (1) 前回会議の振り返り  
・資料1
- (2) イベント (2/11 交流会) の振り返り  
・交流会の振り返り、今後に向けてアクション (資料4)
- (3) 協議会の目指す姿・活動内容について (指し手確保案)  
・和歌山県庁の取り組み (資料1、2、3)  
・新しい和歌山県庁の取り組み (アサヒ新聞掲載記事等) (資料5)  
・年報に掲載する見聞記事
- (4) 今年度事業とりまとめに向けて  
・和歌山県庁の取り組み、今後の課題 (資料6、資料7)
- (5) その他  
・和歌山県庁の取り組み (資料1) ※協議会事務局提供・和歌山県庁で配布  
・和歌山県庁の取り組み (資料2) ※協議会事務局提供  
・和歌山県庁の取り組み (資料3) ※協議会事務局提供  
・和歌山県庁の取り組み (資料4) ※協議会事務局提供  
・和歌山県庁の取り組み (資料5) ※協議会事務局提供  
・和歌山県庁の取り組み (資料6) ※協議会事務局提供  
・和歌山県庁の取り組み (資料7) ※協議会事務局提供  
・和歌山県庁の取り組み (資料8) ※協議会事務局提供  
・和歌山県庁の取り組み (資料9) ※協議会事務局提供  
・和歌山県庁の取り組み (資料10) ※協議会事務局提供

配付資料

資料一覧

[資料1：協議会](#)[資料2：指し手](#)[資料3：第11回協議会参加者名簿](#)[資料4：イベント \(2/11 交流会\) の振り返り](#)[資料5-1：和歌山県庁の取り組み \(非公開\)](#)[資料5-2：和歌山県庁の取り組み \(非公開\) \(資料5\)](#)[資料6-1：和歌山県庁の取り組み \(非公開\) \(資料6\)](#)[資料7：和歌山県庁の取り組み](#)[資料8：和歌山県庁の取り組み](#)[資料9：和歌山県庁の取り組み](#)[資料10：和歌山県庁の取り組み](#)

## いんざい環境フェスタ (6/7) への出展結果

公開日：2025年7月6日

## (1) 出展概要

・ブースの真ん中でマップ (80 版) を展示し、その前に机を配置し、協力いただいた市民活動団体から提供のあったチラシやパンフレット、協議会のチラシ、和歌山市の環境やグリーンインフラに関する資料を配置しました。

・2 名が常駐し、来訪された方の質問などに対応しました。



検索

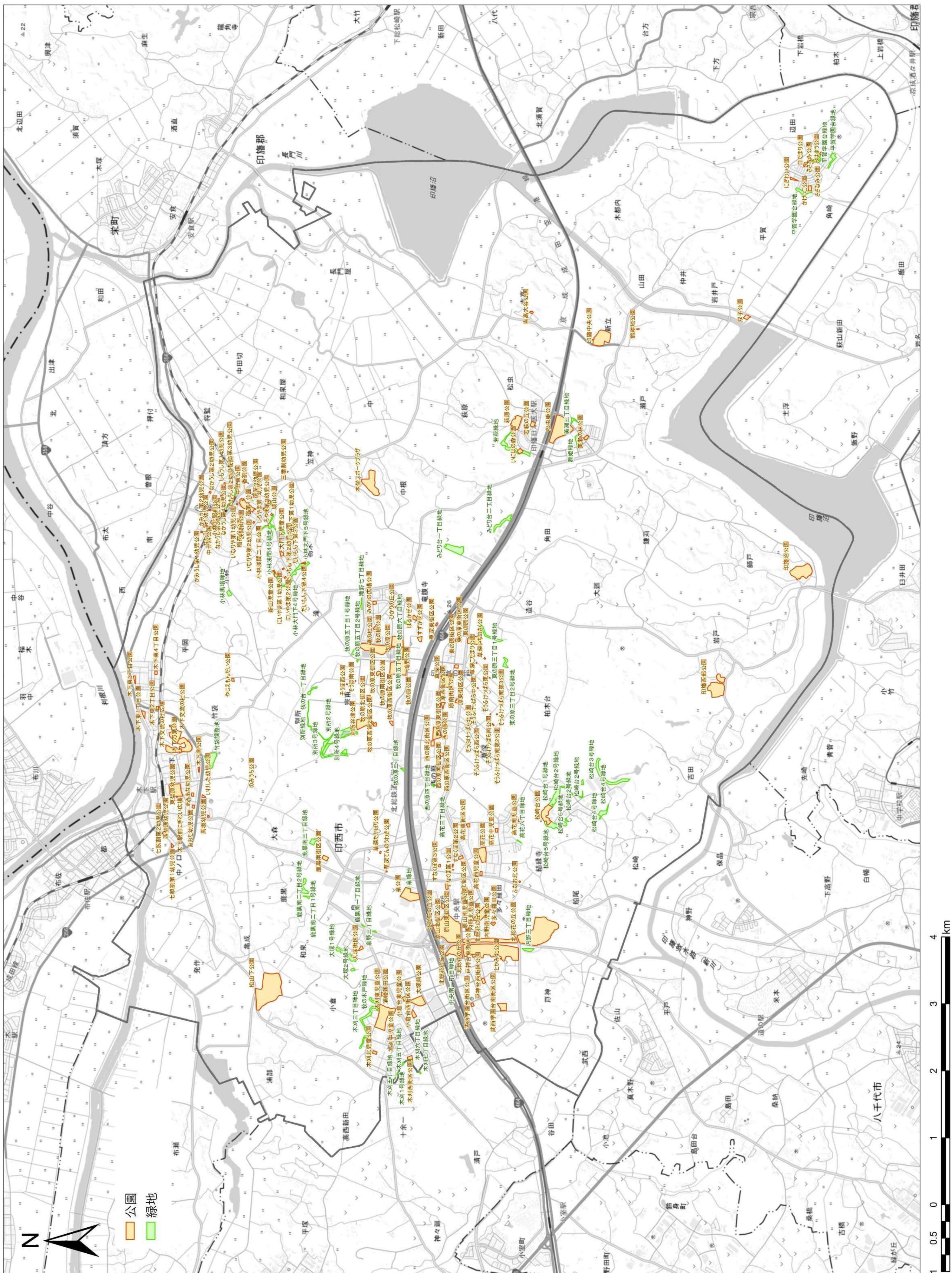
検索

## 協議会開催記録

- 2026年2月 (1)
- 2026年1月 (1)
- 2025年12月 (1)
- 2025年11月 (2)
- 2025年9月 (1)
- 2025年8月 (1)
- 2025年7月 (1)
- 2025年6月 (1)
- 2025年5月 (1)
- 2025年4月 (1)

## 活動報告

- 2025年7月 (1)





(あて先) 印西市長

## 協働の機会提案書(新規提案用)

2024年9月18日

(登録者) 登録番号 06-004

名称 一般社団法人SODO

所在地 印西市

代表者 鈴木 広美

連絡先

E-mail

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

☐ 自由提案型 ☒ 指定テーマ型

|                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 提案事業名                             | 里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 現状・課題<br>(指定テーマ型の場合は<br>テーマ名のみ記入) | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 提案理由                              | <p><b>■背景</b></p> <p>近年、「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」いわゆる<u>ネイチャーポジティブの取り組み推進</u>が国際目標となり、我が国においても、生物多様性国家戦略に反映されるとともに、自然共生サイトの認定などの関連施策が進められています。また、ビジネス分野においては、<u>多くの企業が、自然環境の回復への貢献ができる選択肢を模索</u>しています。</p> <p><b>■印西市の自然(里山)環境の保全・活用の意義</b></p> <p>印西市は、ニュータウン開発等により人口が増加し、また、多くの企業による活動が展開される一方で、<u>市街地近郊に豊かな里山環境(台地上の草原・畑、樹林、湧水、水田、谷津等)が残されている稀有な地域</u>です。これらの里山環境は、生物多様性のみならず、防災・減災、水循環、水質浄化、ウェルビーイング(幸福)の向上など、自然環境の有する多面的な機能を活かした「<u>グリーンインフラ</u>」として、複合的な地域課題の解決にも寄与します。</p> <p><b>■印西市の自然(里山)環境の保全・活用に係る活動の現状</b></p> <p>市内には、これらの里山の自然を守る市民活動団体が複数存在し、活動が展開されているとともに、大学・研究機関によりグリーンインフラ機能についての研究も進められています。</p> |

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                  | <p><b>■協議会の設置を提案する理由</b></p> <p><u>自然環境の保全に関心のある企業、市民団体、研究者、行政がそれぞれの強みを発揮し、市民団体間の連携を深めるなど各主体が有機的な連携を図ること</u>で、印西市の里山環境を良好に保ち、グリーンインフラとして持続的に活用する仕組みを構築できれば、<u>地域住民や企業が豊かな自然環境の恵みを享受し続けることに大きく寄与</u>することが期待できます。</p> <p>そこで、市と市民団体の協働により、里山の保全と活用に向けた検討・議論・情報共有等を行う協議会を設置することを提案します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>提案内容<br/>(予算の概算は提案書様式①－４)</p> | <p><b>1)目標</b></p> <p>印西市内で活動する里山保全活動団体や市民、関心のある企業など、多種多様な主体の連携を図り、印西市の里山における、「生物多様性」、「水循環」等のグリーンインフラ機能の保全・活用に向けた管理体制を構築し、地域活性化に資する。</p> <p><b>2)対象とする里山(対象地)</b></p> <p>印西市が所有もしくは管理する里山的環境(台地上の草原・畑、樹林、湧水、水田、谷津等)を有する土地を対象とします。</p> <p><b>3)協議会の設置・開催</b></p> <p>市と市民団体との協働により、多様な主体が参画する協議会を設置します。協議会では、印西市の里山環境の現状把握、管理目標、管理体制等について検討・議論・調整するとともに、企業を含む多様な主体との新たな連携に向けたアクションについて議論します。</p> <p><b>①協議会の体制</b></p> <p>発足当初は以下のメンバーを想定するものとし、事業開始後、協議会発足時に運営規則等を定め、規程に則り、必要に応じて追加するものとします。</p> <p><b>【当初メンバー(案)】</b></p> <p>印西市:環境保全課、都市整備課、市民活動推進課、市民活動推進センター</p> <p>市民活動団体:NPO 法人亀成川を愛する会、NPO 法人谷田武西の原っぱと森の会、NPO 法人ラーバン千葉ネットワーク、一社 SODO(事務局)</p> <p>研究機関:国立環境研究所(気候変動適応センター副センター長 西廣淳氏)</p> <p><b>②協議会の開催頻度</b></p> <p>1ヶ月に1回程度の開催頻度を想定しています。</p> <p><b>③協議会の開催場所</b></p> <p>印西市役所内の会議室での開催を想定しています。</p> |

#### 4) 協議会での取組内容(案)

当初想定する取組内容は以下の通りとし、協議会での検討・議論等を踏まえて、適宜見直しや追加をしていきます。

①～⑤の各検討結果は、協議会で適宜共有するとともに、検討成果は⑥に示す各種の広報手段により周知していきます。

##### ①対象地(市所有・管理地)の現況把握(リスト・マップ作成等)

- ・ 印西市が所有または管理する土地(緑地等取組対象となり得る土地)の現状(自然環境の状況、管理状況等)の把握・整理(リスト化、マップ化等)

##### ②里山保全活動団体等の現況把握

- ・ 印西市内で里山の保全活動等の活動を行っている市民団体等の現状(団体概要、活動内容等)の把握・整理(リスト化等)
- ・ 活動における課題、連携要望等の把握

##### ③対象地における事業計画の検討

- ・ 先進地域における取組の調査、印西市での適用に係る検討
- ・ 既に市民活動団体等による維持管理が行われている対象地における新たな取組の検討
- ・ 市民活動団体等による維持管理が行われていない対象地における維持管理内容、体制の検討
- ・ 自然共生サイト<sup>※1</sup>申請に係る検討(モニタリング計画立案、申請書類作成等)

※1: 自然共生サイト: 「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する区域。認定区域は、保護地域との重複を除き、「OECM<sup>※2</sup>」として国際データベースに登録される。

※2: OECM: 生物多様性の価値があり、事業者、地域、行政等による様々な取組によって、生物多様性の保全が図られている区域(国立公園など、既に保護されている区域を除く)

##### ④多様な主体の連携に係る検討

- ・ 先進地域における取組の調査、印西市での適用に係る検討
- ・ 市民活動団体間の連携(市有地以外で活動している団体も含む)、市民活動団体と企業の連携、地域内外の住民等との連携の促進に係る検討

##### ⑤協議会の継続的な運営のあり方の検討

- ・ 協働事業終了年度以降の運営のあり方に係る検討

⇒本事業で設置する協議会は今後も継続的・発展的に運営されることが望ましいと考えています。そこで、協働事業終了後の継続も含めて、今後の運営体制、メンバー、取組内容等について、検討を行っていく予定です。

## ⑥事業の広報

### a)事業内容・事業成果の情報発信(ホームページ)

⇒事業で作成したマップや資料、協議会での議論の結果等について、HP※等で市民や企業に事業内容や事業成果をオープンに情報発信することにより、印西市の里山環境の保全・再生やグリーンインフラとしての持続的な利活用の重要性等の意識啓発や、取組への参加促進を図る。

※提案団体・関連団体のホームページでの情報発信を想定しています。協議会での議論を踏まえて、検討・実施する予定です。

### b)イベントでの広報

⇒グリーンインフライベント(一般市民・若者・企業向け)の開催

※グリーンインフラ・ネイチャーポジティブを活かしたまちづくりなどについて分かりやすく解説するとともに、本事業の目指す『多様な主体の連携による印西市の里山における、「生物多様性」、「水循環」等のグリーンインフラ機能の保全・活用』などの理解促進を図る。

⇒他イベント(市開催、他団体開催等)への出展(ポスター出展等)

### c)庁内勉強会の開催

⇒本事業によって実現を目指す『印西市の里山における、「生物多様性」、「水循環」等のグリーンインフラ機能の保全・活用』は、印西市の進める数多くの施策と関わりがあり、より広範な部署との連携を図るため、グリーンインフラと市の施策の関わり等について共有・意見交換を図る。

### d)里山保全団体交流会の開催

⇒市保有地・管理地で活動している団体に関わらず、広く市内で里山保全活動を行っている団体や関心のある団体を対象に、印西市の里山におけるグリーンインフラ機能の保全・活用等に関する講義等の情報提供を行うとともに、各団体の活動における課題等について共有・意見交換を図る。

※各活動団体の現状を把握するとともに、団体との意見交換や相談を踏まえ、必要に応じて、助言などを行う。

また、将来的な協議会メンバーとしての参画可能性を検討する。

貴団体の特性、協働で実施するメリット  
(提案者が事業実施できる能力や有利なアピールポイント)

## ■継続的な里山保全活動実績

共同提案者のうち NPO 法人3者(亀成川を愛する会、谷田武西の原っぱと森の会、ラーバン千葉ネットワーク)は、市の保有・管理地を含む印西市内の里山保全活動を長年に渡って実践してきており、里山の現状や、今後の保全・活用における課題等について熟知しています。また、市内外の関連団体や企業、地域の方々との良好な関係を維持しており、事業を円滑に進めることができます。

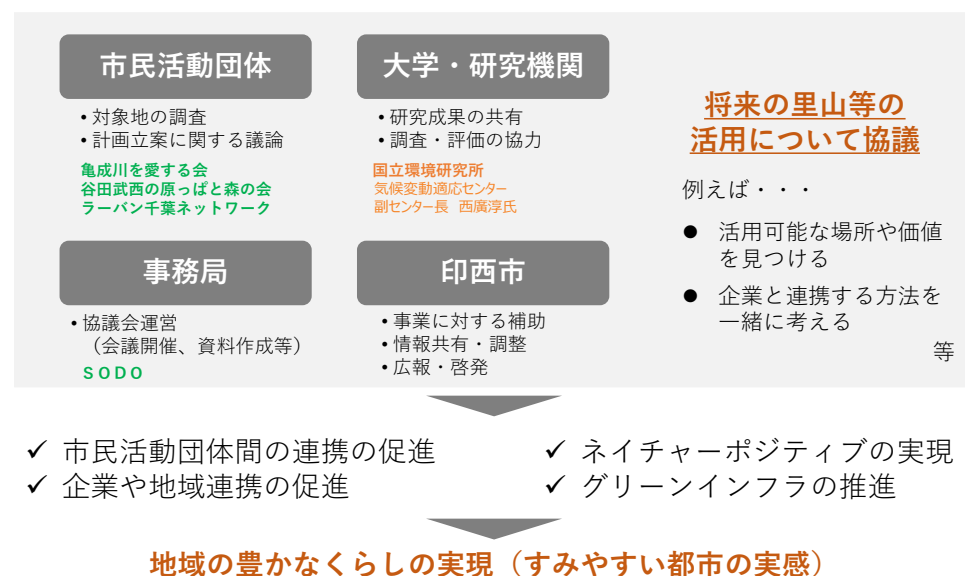
## ■グリーンインフラの地域実装等に関する最先端の知見・ネットワーク

協議会での取組の推進体制には、グリーンインフラ・ネイチャーポジティブ及びその地域実装分野における我が国最先端の研究機関である国立環境研究所の協力を得られることとなっています。そのため、印西市におけるグリーンインフラの推進、ネイチャーポジティブの実現を図るにあたって、技術的支援や、最新の研究事例・国の動向等についての情報提供を受けることができます。また、国立環境研究所は、様々な研究機関や行政、企業等との連携により、北総地域での里山保全・活用の取組を先導しており、様々な地域主体とのネットワークを有していることから、事業を効果的に進めることができます。

## ■地域のグリーンインフラ分野に精通した協議会運営

共同提案者のうち一般社団法人SODO(協議会事務局担当)は、北総地域を中心とする千葉県内において、「生態系を賢く活かした豊かな地域づくりを推進する」ために設立された中間支援団体であり、地域の状況、行政の上位・関連計画など、本事業を進める上で必要となる情報に精通しています。また、市内外の関連団体や行政機関、企業等とのネットワークを有しており、事業を円滑に進めることができます。

## ■協議会の運営体制



| <p>事業実施により<br/>得られる効果<br/>(自由提案型は今後の<br/>展望も記入)</p>                                                                                                                                                                                                                               | <p><b>■事業実施により得られる主な効果</b></p> <p>本事業の実施により、以下に挙げるようなことが実現できます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>本事業で直接的に実現できること</th><th>結果として実現が期待されること</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の設立(市民・事業者・行政の協働による里山の保全・活用の仕組みづくり)</li> <li>・里山の保全・活用に係る市民活動団体間の連携促進</li> <li>・里山の保全・活用に係る地域、企業の連携促進</li> <li>・連携によって保全・維持されている里山(市有地)の OECM※登録</li> <li>・印西市内の里山(市所有・管理地)の現状把握</li> <li>・HPを通じた情報発信による市民・企業への広報、意識啓発、参加促進</li> </ul> </td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の保全・活用の推進</li> <li>・生物多様性の保全</li> <li>・グリーンインフラの推進</li> <li>・ネイチャーポジティブの推進</li> <li>・カーボンニュートラルへの貢献</li> <li>・地域の豊かな暮らしの実現</li> <li>・市民団体間の連携促進<br/>(多様な主体の交流の場の創出)</li> </ul> </td></tr> </tbody> </table> <p>※OECM:生物多様性の価値があり、事業者、地域、行政等による様々な取組によって、生物多様性の保全が図られている区域(国立公園など、既に保護されている区域を除く)</p> <p><b>■関連する印西市の施策</b></p> <p>本事業は印西市の進める施策と広範にかかわりがあり、以下に例示するような施策の実現に寄与することができます。</p> <p>①印西市総合計画(自然との共生の実現)</p> <p>②第3次印西市環境基本計画(樹林地・斜面林の保全、いきものの生息・生育空間の把握、多様な生態系の保全、水辺環境の保全、自然と調和したまちづくり、環境に配慮したまちづくりの推進、環境学習の場と機会の創出、各主体における環境配慮行動の推進、各主体間の連携促進、重点的な取組1:自然の力を活かそう!グリーンインフラ大作戦!)</p> <p>③印西市緑の基本計画(樹林地の維持管理の仕組みの充実、樹林地の保全、耕作放棄地の活用、水辺環境の保全、健全な水循環の保全、河川の水質改善、生物の生息・生育空間の保全、緑あふれる景観の保全、緑地保全・緑化推進団体の育成、自然環境の活用、市民参加による管理・運営の推進、市民による樹林地の保全・活用制度の創設、協働による里山の調査・保全、緑に関する情報発信)</p> <p><b>■今後の展望</b></p> <p>上記「提案内容」にも記した通り、本事業で設置する協議会は今後も継続的・発展的に運営されることが望ましいと考えています。</p> <p>そこで、協働事業終了後も協議会や協議会で実施した検討の継続が実現できるよう、将来の運営体制、メンバー、取組内容等について、検討を行います。</p> | 本事業で直接的に実現できること | 結果として実現が期待されること | <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の設立(市民・事業者・行政の協働による里山の保全・活用の仕組みづくり)</li> <li>・里山の保全・活用に係る市民活動団体間の連携促進</li> <li>・里山の保全・活用に係る地域、企業の連携促進</li> <li>・連携によって保全・維持されている里山(市有地)の OECM※登録</li> <li>・印西市内の里山(市所有・管理地)の現状把握</li> <li>・HPを通じた情報発信による市民・企業への広報、意識啓発、参加促進</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の保全・活用の推進</li> <li>・生物多様性の保全</li> <li>・グリーンインフラの推進</li> <li>・ネイチャーポジティブの推進</li> <li>・カーボンニュートラルへの貢献</li> <li>・地域の豊かな暮らしの実現</li> <li>・市民団体間の連携促進<br/>(多様な主体の交流の場の創出)</li> </ul> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本事業で直接的に実現できること                                                                                                                                                                                                                                                                   | 結果として実現が期待されること                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                 |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の設立(市民・事業者・行政の協働による里山の保全・活用の仕組みづくり)</li> <li>・里山の保全・活用に係る市民活動団体間の連携促進</li> <li>・里山の保全・活用に係る地域、企業の連携促進</li> <li>・連携によって保全・維持されている里山(市有地)の OECM※登録</li> <li>・印西市内の里山(市所有・管理地)の現状把握</li> <li>・HPを通じた情報発信による市民・企業への広報、意識啓発、参加促進</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の保全・活用の推進</li> <li>・生物多様性の保全</li> <li>・グリーンインフラの推進</li> <li>・ネイチャーポジティブの推進</li> <li>・カーボンニュートラルへの貢献</li> <li>・地域の豊かな暮らしの実現</li> <li>・市民団体間の連携促進<br/>(多様な主体の交流の場の創出)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                 |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                          |

## 共同提案者名簿一覧

(登録者) 登録番号 05－002

名 称 NPO法人亀成川を愛する会  
所在地 印西市 〇〇〇〇－〇〇〇〇  
代表者職氏名 理事長 小山 尚子  
連絡先 〇〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇

(登録者) 登録番号 21－002

名 称 特定非営利活動法人ラーバン千葉ネットワーク  
所在地 印西市 〇〇〇〇－〇〇〇〇  
代表者職氏名 理事長 丹澤 正直  
連絡先 〇〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇

(登録者) 登録番号 23－003

名 称 特定非営利活動法人谷田武西の原っぱと森の会  
所在地 印西市 〇〇〇〇三丁目1番1号 〇〇〇〇  
代表者職氏名 理事長 矢野 真理  
連絡先 〇〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇

(登録者) 登録番号 —

名 称  
所在地  
代表者職氏名  
連絡先

※記入箇所が足りない場合は適宜追加してください。

| 協働事業計画書                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業名                                                       | 里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                           |
| 事業の目的                                                     | 市と市民団体が協働により協議会を設置することにより、印西市内で活動する里山保全活動団体や企業など多種多様な主体の連携を図り、印西市が所有・管理する里山を対象に、「生物多様性の保全」、「里山の水循環」、「地域活性化」の管理体制の構築を目指し、里山の保全・活用に取り組んでいくことを目的とします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                           |
| 市の施策上の位置付け及び協働部署                                          | (施策名) 印西市総合計画 (自然との共生の実現)、第3次印西市環境基本計画、印西市緑の基本計画<br>(部署名) 環境保全課                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                           |
| 事業期間                                                      | 令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                           |
| 事業の内容<br>詳細に役割分担別に記入<br>(役割分担を、できれば事前に市の担当に相談して記すか、希望を記す) | 提案者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 市                                                                                                                                                                                                         |
|                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○協議会の運営</li> <li>○対象地の現況把握</li> <li>○里山保全活動団体等の現況把握</li> <li>○対象地における事業計画の検討</li> <li>○多様な主体の連携に係る検討</li> <li>○協議会の継続的な運営のあり方の検討</li> <li>○事業の広報</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業に対する補助<br/>⇒協議会等の開催場所の提供</li> <li>⇒検討に必要な情報提供</li> <li>⇒関係部局との連携・調整</li> <li>⇒イベントの補助</li> <li>○市所有地や公共用地を使用する場合の借用および連絡調整</li> <li>○周知・啓発 (広報、HP 等)</li> </ul> |
| 事業に要する経費<br>※詳細については、様式③による                               | 135,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1,715,000円                                                                                                                                                                                                |
| 事業の運営体制<br>(事業関係者、協力者、有資格者など)                             | <p><b>市民活動団体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象地の調査</li> <li>計画立案に関する議論</li> <li>亀成川を愛する会</li> <li>谷田武西の原っぱと森の会</li> <li>ラーバン千葉ネットワーク</li> </ul> <p><b>大学・研究機関</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究成果の共有</li> <li>調査・評価の協力</li> <li>国立環境研究所 気候変動適応センター 副センター長 西廣淳氏</li> </ul> <p><b>事務局</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協議会運営 (会議開催、資料作成等)</li> <li>SODO</li> </ul> <p><b>印西市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業に対する補助</li> <li>情報共有・調整</li> <li>広報・啓発</li> </ul> <p><b>将来の里山等の活用について協議</b></p> <p>例えば・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 活用可能な場所や価値を見つける</li> <li>● 企業と連携する方法を一緒に考える</li> <li>等</li> </ul> <p>✓ 市民活動団体間の連携の促進<br/>✓ 企業や地域連携の促進</p> <p>✓ ネイチャーポジティブの実現<br/>✓ グリーンインフラの推進</p> <p><b>地域の豊かなくらしの実現 (すみやすい都市の実感)</b></p> |                                                                                                                                                                                                           |

|                                    | 提案者                                                                                                                                                                                      | 市 民                                                        | 市                      |
|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|------------------------|
| <b>協働のメリット</b><br>(各立場にとっての効果を簡潔に) | ○各団体の里山保全活動の量的・質的向上<br>⇒企業や市民との連携<br>⇒協議会での共有等を踏まえた活動へのフィードバック<br>⇒市の施策実現・グリーンインフラ機能の担い手としてのモチベーション向上<br>○協議会を通じた各団体の課題解決                                                                | ○身近に自然と触れ合い、親しむことができる多様な場（里山・緑地等）の確保<br>○QOL、Well-being 向上 | ○多様な主体との連携による市の政策課題の実現 |
|                                    | ○多様な価値観に対応した地域づくり、市の魅力の向上<br>○市内の里山の維持・保全、グリーンインフラ機能の向上による気候変動や生物多様性などの地球規模の課題等への対応                                                                                                      |                                                            |                        |
| <b>対話方法</b><br>市との協議や打ち合わせ方法       | ○協議会（1回／月）：事業の進捗状況や実績を共有・意見交換<br>※その他、メール等で随時情報交換を行う。                                                                                                                                    |                                                            |                        |
| <b>事業の周知方法</b>                     | ○市広報、ホームページへの掲載<br>○事業内容・事業成果の情報発信（提案・関連団体のホームページ）<br>○庁内勉強会の開催（グリーンインフラにより課題解決できる可能性のある施策に関連する部署を対象）<br>○里山保全団体交流会の開催（市内の里山保全活動や関連団体を対象）<br>○イベントでの広報<br>⇒グリーンインフライベントの開催<br>⇒他イベントへの出展 |                                                            |                        |
| <b>評価の方法</b><br>(具体的な目標値)          | 協議会：協議会の設立、継続的な運営に向けた検討<br>庁内勉強会・交流会・イベントの参加者：庁内勉強会（1回：20名）、交流会（1回：20名）、イベント（1回：50名）<br>※交流会・イベントは事業開始後の企画により同日実施の可能性あり<br>印西市内の里山の自然共生サイト認定：1箇所以上で認定（もしくは検討）                            |                                                            |                        |
| <b>備 考</b>                         | 関係団体等：国立研究開発法人国立環境研究所気候変動適応センター 副センター長 西廣淳氏                                                                                                                                              |                                                            |                        |
|                                    | その他（添付書類等）                                                                                                                                                                               |                                                            |                        |

(提案書 様式③ 最終審査)

### 企画提案型協働事業経費内訳書

無償分を含む総事業費 (金 3, 2 5 5, 8 4 0 円)

うち市に負担を求める額 (委託費) 金 1, 7 1 5, 0 0 0 円

#### 【歳入】

| 項 目         | 積算根拠 (内容・数量・単価など)                     | 見積り金額(円)      |
|-------------|---------------------------------------|---------------|
| 市に負担を求める額   | 人件費(技術的検討に係る部分)、イベント開催経費              | 1,715,000     |
| 提案者が負担する額   | 旅費交通費、印刷製本費                           | 135,000       |
| その他収入       |                                       | 0             |
| 無償分を含めない合計額 |                                       | 1,850,000     |
| 無償労働力等換算金額  | 人件費(協議会等の開催に係る部分)<br>交通費(提案者以外が負担する額) | (1,405,840)   |
| 無償分を含む総事業費  |                                       | (3, 255, 840) |

#### 【歳出】

| 項 目 | 積算根拠 (内容・数量・単価など)                                                                         | 見積り金額(円) |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 人件費 | ①対象地の現況把握(リスト・マップ化等)<br>※GISを用いたマップの作成等<br>15 人日×23,500 円※単価 1                            | 352,000  |
|     | ②里山保全活動団体の現況把握<br>※専門的視点からの現況整理、課題の抽出<br>5 人日×23,500 円※単価 1                               | 117,500  |
|     | ③対象地における事業計画の検討<br>③-1 新たな取組、維持管理内容・体制の検討<br>※専門的視点からの検討<br>10 人日×23,500 円※単価 1           | 235,000  |
|     | ③-2 自然共生サイト申請に係る検討<br>※市保有・管理地の自然共生サイト申請に必要な情報整理、モニタリング計画策定、申請書類作成<br>15 人日×23,500 円※単価 1 | 352,500  |



## ■単価の設定根拠

### 1) 専門技術を要する作業の単価（単価 1）

以下に挙げる専門技術を要する作業については、国土交通省設計業務委託等技術者単価（コンサルタント単価）の最低ランクの技術者単価（技術員）の70%相当額の単価を採用

- ・GIS等専門ツールを用いた作業（マップの作成等）
- ・本事業を推進する上で必要となる専門的スキルを要する作業

### 令和6年度国土交通省設計業務委託等技術者単価

#### ①設計業務

| 技術者の職種 | 基準日額(円) | 割増対象資金比(%) |
|--------|---------|------------|
| 主任技術者  | 80,200  | 55%        |
| 理事、技師長 | 75,800  | 55%        |
| 主任技師   | 64,800  | 55%        |
| 技師(A)  | 57,000  | 55%        |
| 技師(B)  | 47,200  | 55%        |
| 技師(C)  | 38,400  | 55%        |
| 技術員    | 33,600  | 55%        |

単価 1 :  $33,600 \text{ 円} \times 70\% = 23,520 \text{ 円}$   
 $\Rightarrow 23,500 \text{ 円}$   
 ※100 円単位未満切り捨て

#### (3) 設計業務等技術者

##### 職種区分定義

- ① 主任技術者：先例が少なく、特殊な工法や解析を伴う極めて高度あるいは専門的な業務を指導統括する能力を有する技術者。  
工学以外に社会、経済、環境等の多方面な分野にも精通し、総合的な判断力により業務を指導、統括する能力を有する技術者。  
工学や解析手法の新規開発業務を指導、統括する能力を有する技術者。
- ② 理事・技師長：複数の非定型業務を統括し、極めて高度で複合的な業務のプロジェクトマネージャーを務める技術者。
- ③ 主任技師：定型業務に精通し部下を指導して複数の業務を担当する。また、非定型業務を指導し最重要部分を担当する。
- ④ 技師(A)：一般的な定型業務に精通するとともに高度な定型業務を複数担当する。また、上司の指導のもとに非定型業務を担当する。
- ⑤ 技師(B)：一般的な定型業務を複数担当する。また、上司の包括的指示のもとに高度な定型業務を担当する。
- ⑥ 技師(C)：上司の包括的指示のもとに一般的な定型業務を担当する。また、上司の指導のもとに高度な定型業務を担当する。
- ⑦ 技術員：上司の指導のもとに一般的な定型業務の一部を担当する。また、補助員を指導して基礎的資料を作成する。

なお、職種区分定義で示されている定型業務、非定型業務については下記を参考に判断するものとする。

- 定型業務**
- ・調査項目、調査方法等が指定されており、作業量、所要工期等も明確な業務
  - ・参考となる類似業務があり、それらをベースに応用することが可能な比較的簡易な業務
  - ・設計条件、計画諸元の設定等が比較的容易で、立地条件や社会条件により業務遂行が大きく作用されない業務
- 非定型業務**
- ・調査項目、調査方法等が未定で、コンサルタントとしての経験から最適な業務計画、設計手法等確立して対応することが求められる業務
  - ・比較検討のウエイトが高く、かつ新技術または高度技術と豊かな経験を要する大規模かつ重要構造物の設計業務
  - ・文化性、芸術性が特に重視される業務
  - ・先例が少ないか、実験解析、特殊な観測・診断等を要する業務
  - ・委員会運営や関係機関との調整等を要する業務
  - ・計画から設計まで一貫した業務

※本事業の実際の担当予定技術者は、主任技師相当～技師 B 相当の技術者となります。

## 2) 会議への参加（単価 2，単価 3）

「謝金の標準支払基準」の改定について、平成 27 年 3 月 6 日、各府省等申合せを参考として単価を設定するものとし、区分 6（地方支分部局が開催する一般的なもの）を採用、1 回あたりの会議を 2 時間と想定

- ・ NPO 法人：幹事・専門委員の単価を採用 ⇒単価 2
- ・ 国立環境研究所：委員・臨時委員の単価を採用 ⇒単価 3

### 第 2 支払基準

#### 1. 会議出席謝金支払基準

懇談会等行政運営上の会合（以下「会合」という。）への出席に対する会議出席謝金の日額及び時間単価は、原則として別表 1 の標準単価を適用する。

会合の主催者や影響度等を考慮し、別表 1 の備考を参考として、依頼する職名ごとに別表 1 の職名に対応する標準単価の中から適宜単価を選択する。

ただし、職名によらず一律の単価を設定する会合にあっては、別表 1 の標準単価の中から、適宜（日額と時間単価は区別する）単価を選択する。

【別表 1】

| 職名別<br>単価<br>区分 | 標準単価   |        |             |       |         |       |
|-----------------|--------|--------|-------------|-------|---------|-------|
|                 | 会長     |        | 委員（会員）・臨時委員 |       | 幹事・専門委員 |       |
|                 | 日額     | 時間単価   | 日額          | 時間単価  | 日額      | 時間単価  |
| ①               | 22,700 | 11,300 | 19,600      | 9,800 | 17,700  | 8,800 |
| ②               | 20,500 | 10,200 | 17,700      | 8,800 | 15,700  | 7,800 |
| ③               | 18,400 | 9,200  | 16,100      | 8,000 | 13,700  | 6,800 |
| ④               | 16,400 | 8,200  | 14,000      | 7,000 | 11,700  | 5,800 |
| ⑤               | 14,400 | 7,200  | 12,000      | 6,000 | 9,700   | 4,800 |
| ⑥               | 12,300 | 6,100  | 9,900       | 4,900 | 7,600   | 3,800 |
| ⑦               | 10,300 | 5,100  | 7,900       | 3,900 | 5,600   | 2,800 |

（備考）

- ① 区分①は、中央府省等が開催する会合で最も上位とすることが適当としたもの。
- ② 区分②は、中央府省等が開催する会合で上位とすることが適当としたもの。
- ③ 区分③は、中央府省等が開催する会合で一般的なもの（大規模）。
- ④ 区分④は、中央府省等が開催する会合で一般的なもの（中規模）、又は地方支分部局が開催する会合で最も上位とすることが適当としたもの。
- ⑤ 区分⑤は、中央府省等が開催する会合で一般的なもの（小規模）、又は地方支分部局が開催する会合で上位とすることが適当としたもの。
- ⑥ 区分⑥は、中央府省等が開催する会合で下位とすることが適当としたもの、又は地方支分部局が開催する会合で一般的なもの。
- ⑦ 区分⑦は、他の区分より下位とすることが適当としたもの。

## 年間事業スケジュール

| 実施予定日                | 活 動 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 参加人数 <sup>※1</sup> |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 4月上旬                 | 市との打合せ・契約                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 4名                 |
| 4月～3月                | 協議会の開催（1回／月程度，年12回）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 15名                |
|                      | 検討事項<br>①対象地の現況把握（リスト・マップ化等）<br>②里山保全活動団体の現況把握<br>③対象地における事業計画の検討<br>③-1 新たな取組、維持管理内容・体制の検討<br>③-2 OECM登録に係る検討<br>④多様な主体の連携に係る検討<br>⑤事業の広報（HPを通じた情報提供等）                                                                                                                                                                                                                                                                                       | —                  |
| 6月～7月 <sup>※2</sup>  | 庁内勉強会の開催                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 20名                |
| 8月～11月 <sup>※2</sup> | 里山保全団体交流会の開催                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 20名                |
|                      | グリーンインフライベントの開催                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 50名                |
| 3月下旬                 | 市への実績報告                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 4名                 |
|                      | ■成果一覧<br>①対象地（市所有・管理地）の現況マップ・リスト<br>・印西市が所有または管理する土地（緑地等）の現状（自然環境の状況、管理状況等）を整理したマップ及びリスト<br>②里山保全活動団体等の現況リスト<br>・印西市内で里山の保全活動等の活動を行っている市民団体等の現状（団体概要、活動内容等）を整理したリスト<br>③成果報告書<br>・上記①②に加え、以下の内容について取組成果をとりまとめた報告書<br>⇒先進地域の取組事例調査、印西市での適用に係る検討<br>⇒対象地における取組の検討（既に市民活動団体等による維持管理が行われている対象地における新たな取組、市民活動団体等による維持管理が行われていない対象地における維持管理内容、体制等）<br>⇒自然共生サイト申請に係る検討<br>⇒多様な主体の連携に係る検討（市民活動団体間の連携、市民活動団体と企業の連携、地域内外の住民等との連携）<br>⇒協議会の継続的な運営のあり方の検討 |                    |

※1：想定人数

※2：開催時期は協議・調整により設定